

7 休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

(34) 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

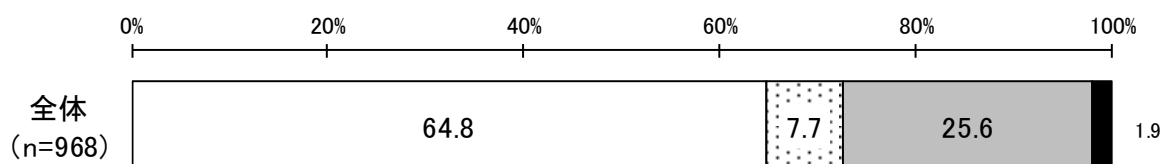
①土曜日

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が64.8%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」（25.6%）が続き、以下「ほぼ毎週利用したい」（7.7%）の順となっています。

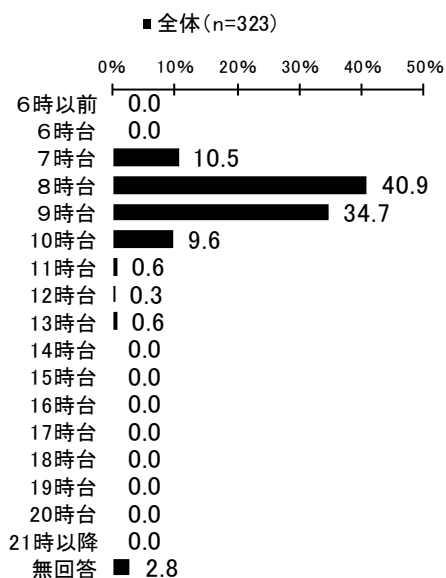
希望する利用開始時刻は「8時台」の割合が40.9%、終了時刻は「17時台」の割合が22.9%でそれぞれ最も高くなっています。

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

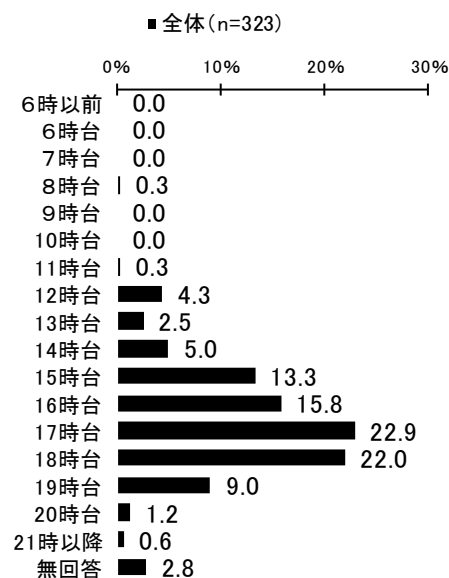
□ 利用する必要はない ▨ ほぼ毎週利用したい ■ 月に1～2回は利用したい ■ 無回答



希望する利用開始時刻



希望する利用終了時刻



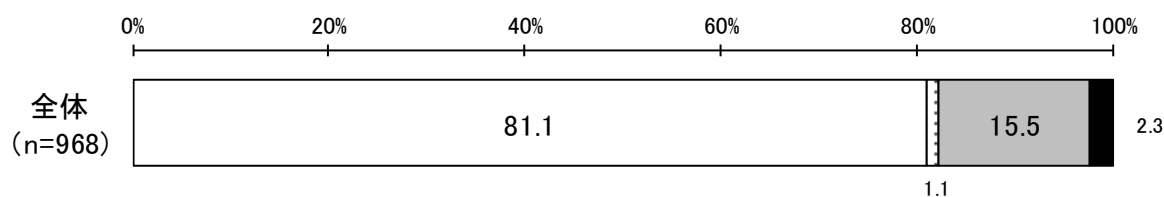
②日曜・祝日

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が81.1%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」（15.5%）が続き、以下「ほぼ毎週利用したい」（1.1%）の順となっています。

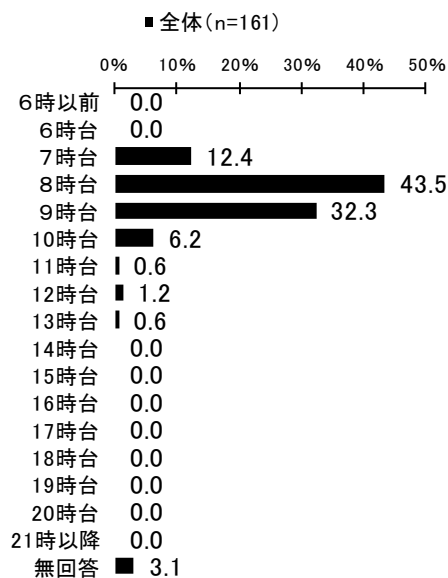
希望する利用開始時刻は「8時台」の割合が43.5%、終了時刻は「18時台」の割合が28.6%でそれぞれ最も高くなっています。

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

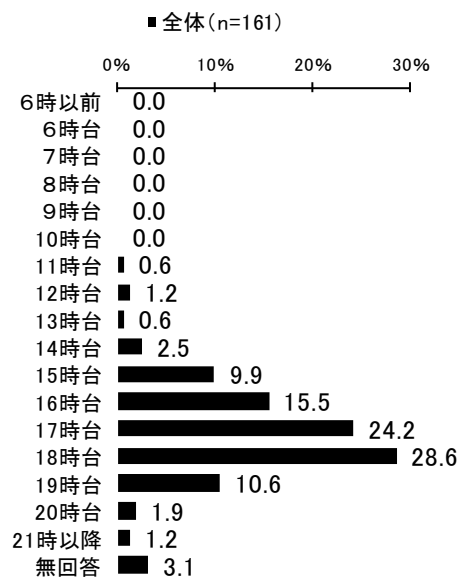
□ 利用する必要はない □ ほぼ毎週利用したい □ 月に1～2回は利用したい ■ 無回答



希望する利用開始時刻



希望する利用終了時刻



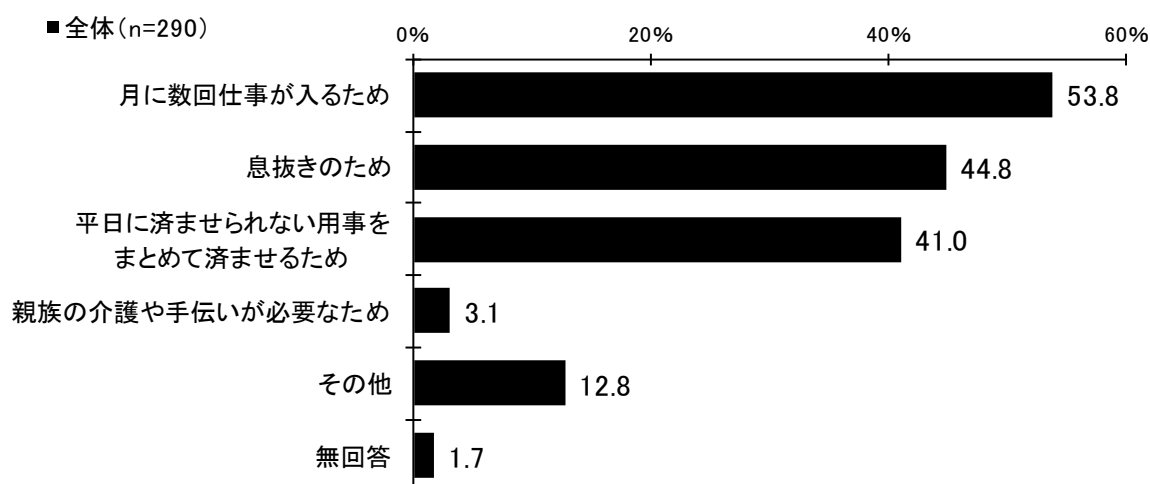
(35) 土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由

問20で「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【複数回答】

土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」の割合が53.8%で最も高く、次いで「息抜きのため」(44.8%)が続き、以下「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(41.0%)などの順となっています。

土曜日と日曜日・祝日に子育て支援事業をたまに利用したい理由【複数回答】



(36) 長期休暇中の幼稚園の利用希望

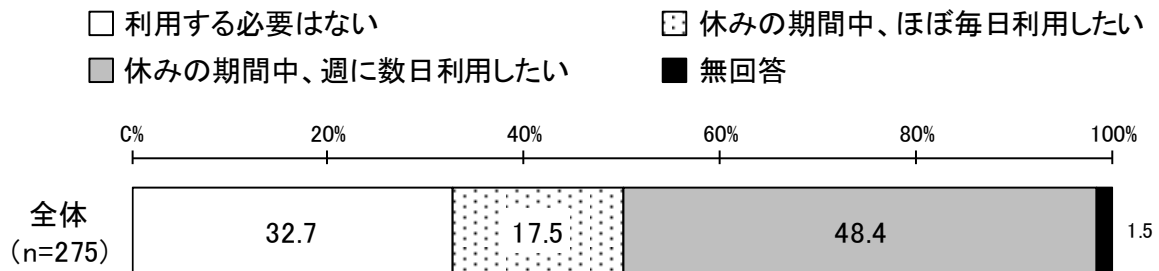
幼稚園を利用されている方にうかがいます。

問21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。

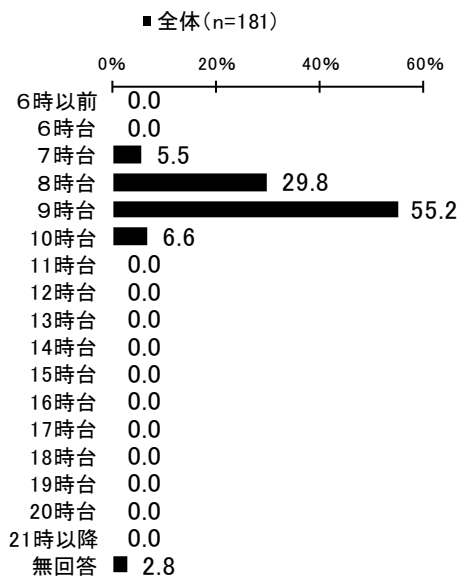
長期休暇中の幼稚園の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が48.4%で最も高く、次いで「利用する必要はない」(32.7%)が続き、以下「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(17.5%)となっています。

希望する利用開始時刻は「9時台」が55.2%、終了時刻は「15時台」が34.8%でそれぞれ最も高くなっています。

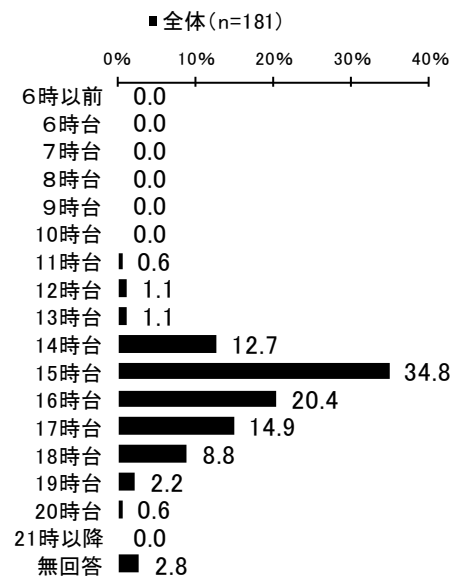
長期休暇中の幼稚園の利用希望



希望する利用開始時刻



希望する利用終了時刻



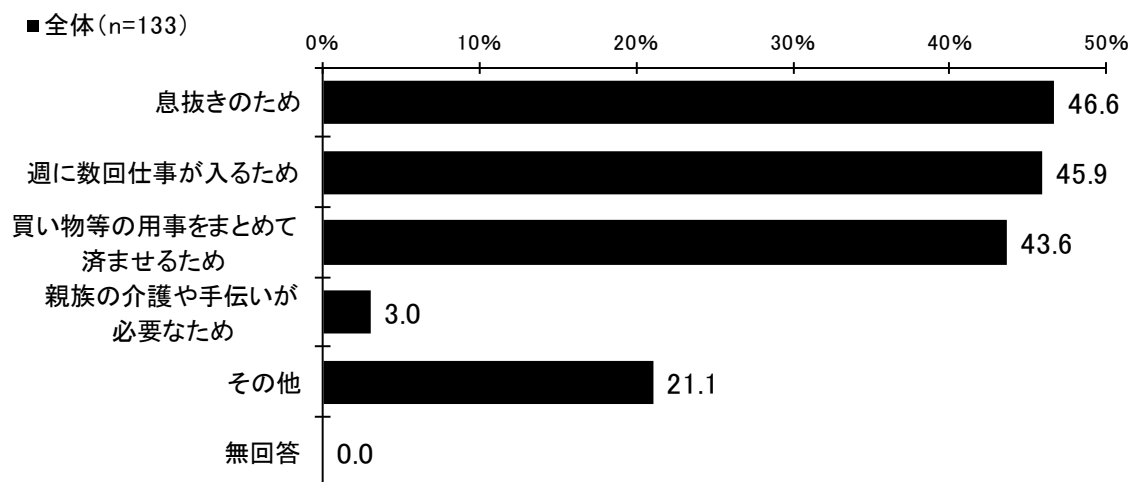
(37) 長期休暇中幼稚園を毎日ではなくたまに利用したい理由

問21で「週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいます。

問21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【複数回答】

長期休暇中幼稚園を毎日ではなくたまに利用したい理由については、「息抜きのため」の割合が46.6%で最も高く、次いで「週に数回仕事が入るため」(45.9%)が続き、以下「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(43.6%)などの順となっています。

長期休暇中幼稚園を毎日ではなくたまに利用したい理由【複数回答】



8 病気の際の対応について

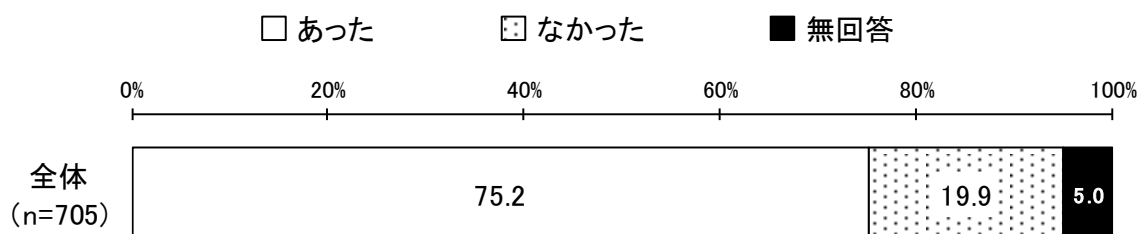
こちらの項目は、平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問15で「利用している」に○をつけた方）にのみうかがいます。

(38) 病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。

病気やけがで通常の事業が利用できなかった経験については、「あった」の割合が75.2%で、「なかった」（19.9%）の割合を大きく上回ります。

病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験

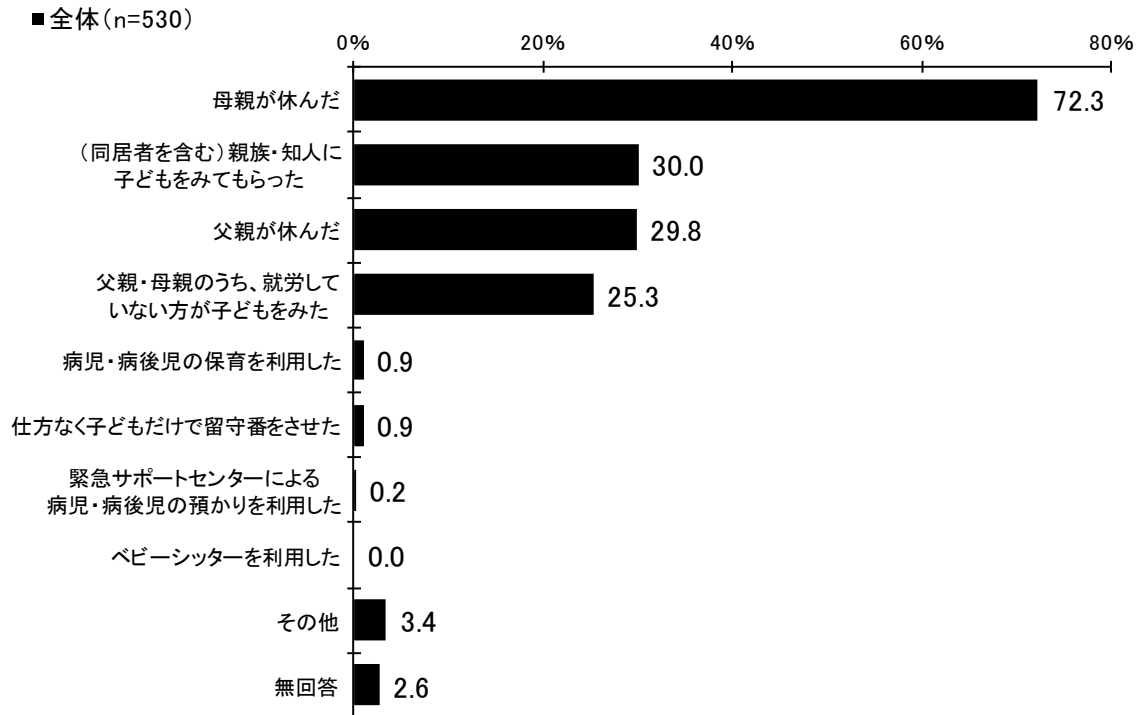


(39) 子どもが病気の際の対処方法

問22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。【複数回答】

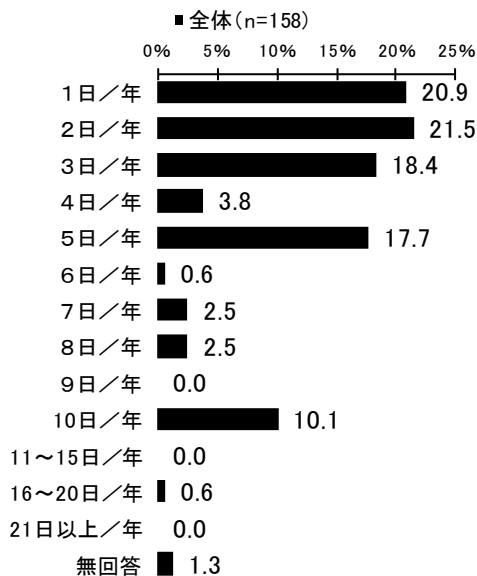
子どもが病気の際の対処方法については、「母親が休んだ」の割合が72.3%で最も高く、他を引き離します。次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(30.0%)が続き、以下「父親が休んだ」(29.8%)などの順となっています。

子どもが病気の際の対処方法【複数回答】

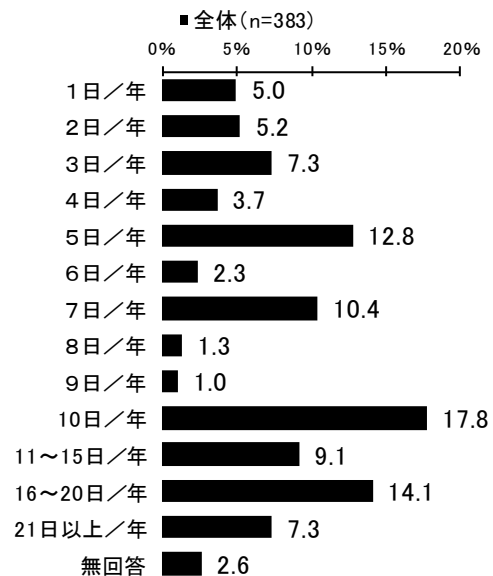


対処した日数

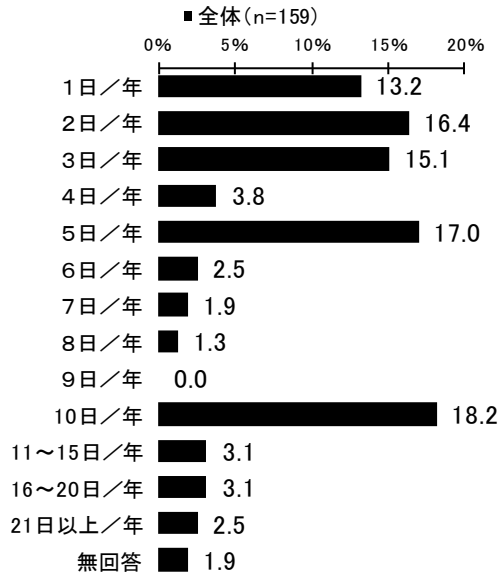
1. 父親が休んだ



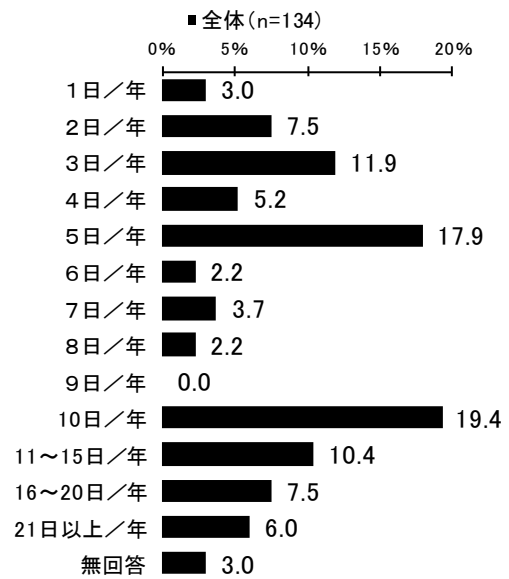
2. 母親が休んだ



3. 親族・知人に子どもをみてもらった



4. 父母いずれか就労していない方がみた



5. 病児・病後児保育室を利用

カテゴリー名	n (人)
2日/年	2
3日/年	1
5日/年	1
11~15日/年	1

6. ベビーシッターを利用

対象者なし

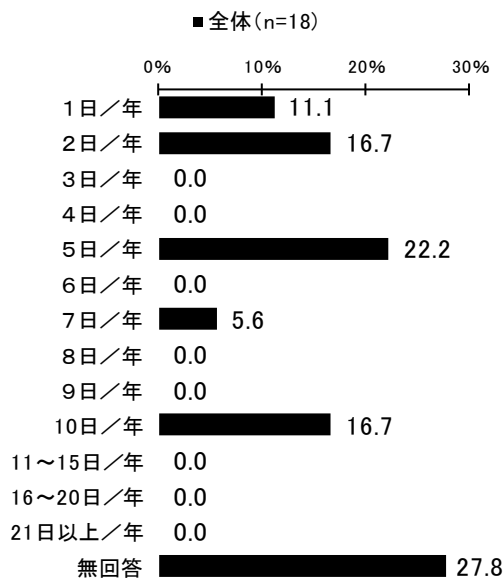
7. 緊急サポートセンターを利用

カテゴリー名	n (人)
1日/年	1

8. 子どもだけで留守番をさせた

カテゴリー名	n (人)
1日/年	1
2日/年	1
3日/年	2
5日/年	1

9. その他



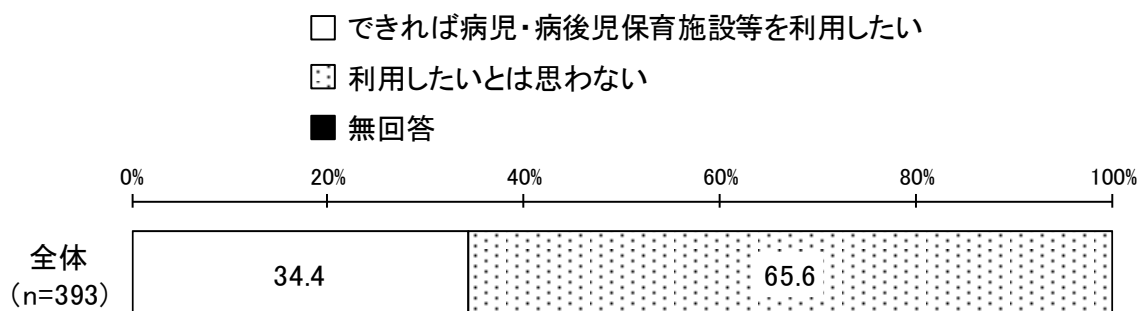
(40) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問22-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたか。

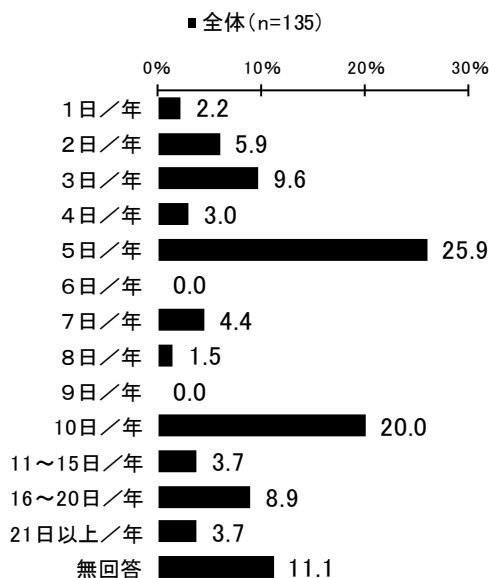
病児・病後児保育施設等の利用希望については、「利用したいとは思わない」の割合が65.6%で6割以上を占めます。一方、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合は34.4%でした。

利用したかった日数については、「5日/年」の割合が25.9%で最も高くなっています。

病児・病後児保育施設等の利用希望



利用したかった日数

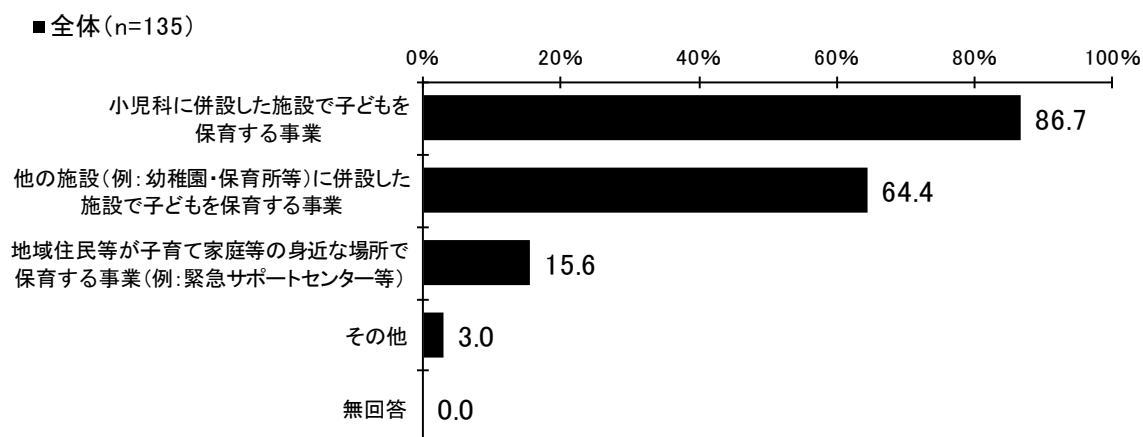


(41) 病児・病後児保育施設の望ましい事業形態

問22-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。【複数回答】

病児・病後児保育施設の望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が86.7%で最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（64.4%）が続き、他を引き離します。以下「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：緊急サポートセンター等）」（15.6%）などの順となっています。

病児・病後児保育施設の望ましい事業形態【複数回答】

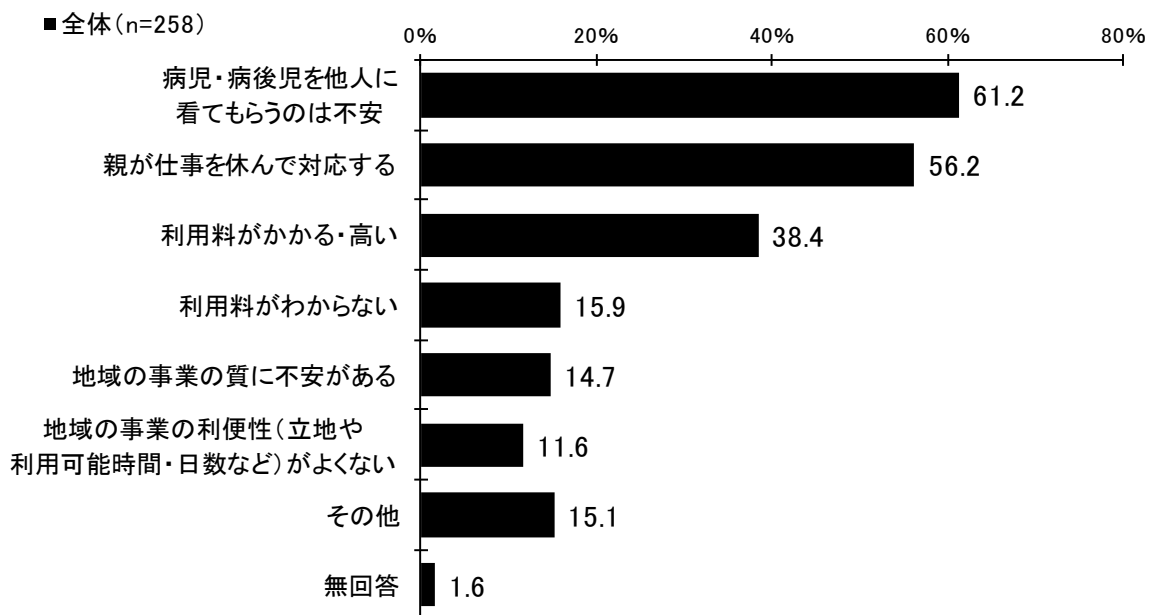


(42) 病児・病後児保育施設等を利用したくない理由

問22-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。
問22-4 そう思われる理由はなんですか。【複数回答】

病児・病後児保育施設等を利用したくない理由については、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が61.2%で最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」(56.2%)が続き、以下「利用料がかかる・高い」(38.4%)などの順となっています。

病児・病後児保育施設等を利用したくない理由【複数回答】



(43) 子どもが病気の際に父母が仕事を休む希望

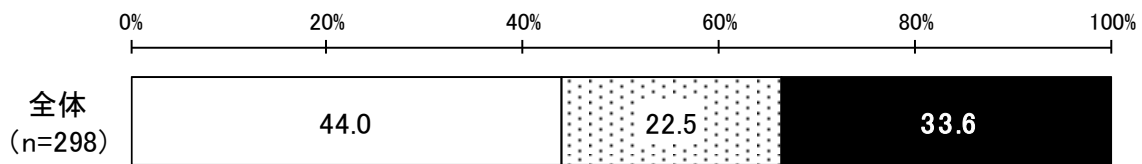
問22-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が44.0%で、「休んで看ることは非常に難しい」(22.5%)の割合を上回ります。

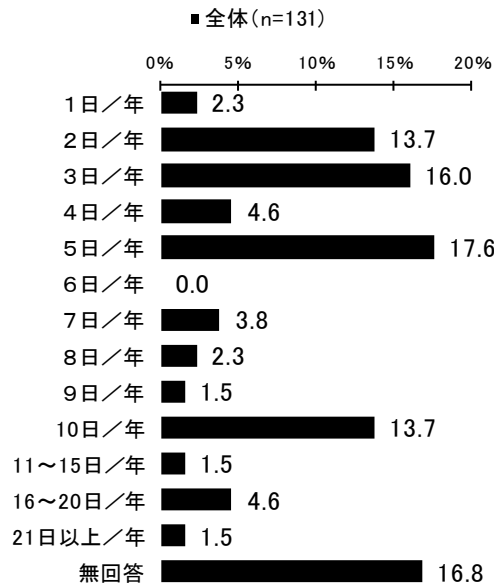
仕事を休んで看たかった日数については、「5日/年」の割合が17.6%で最も高くなっています。

子どもが病気の際に父母が仕事を休む希望

□ できれば仕事を休んで看たい ▨ 休んで看ることは非常に難しい ■ 無回答



仕事を休んで看たかった日数



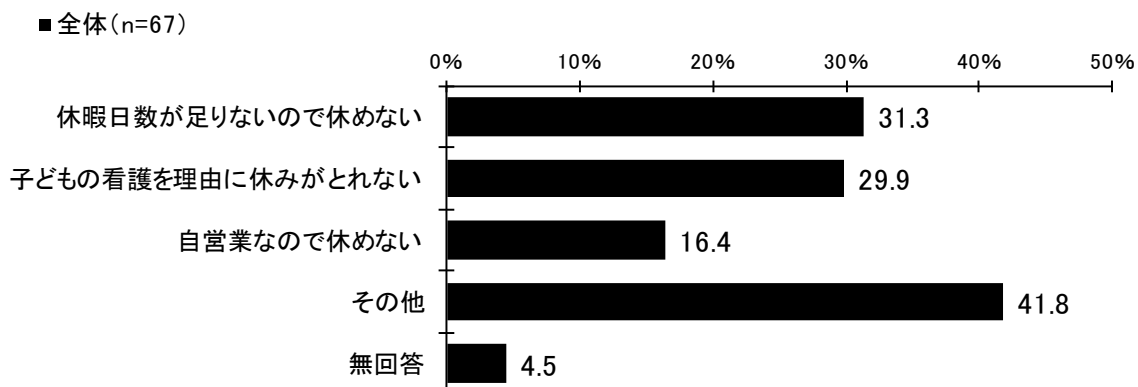
(44) 仕事を休んで看ることが難しい理由

問22-5で「休んで看ことは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問22-6 そう思われる理由は何ですか。【複数回答】

仕事を休んで看ることが難しい理由については、「休假日数が足りないので休めない」の割合が31.3%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」(29.9%)が続き、以下「自営業なので休めない」(16.4%)などの順となっています。

仕事を休んで看ることが難しい理由【複数回答】



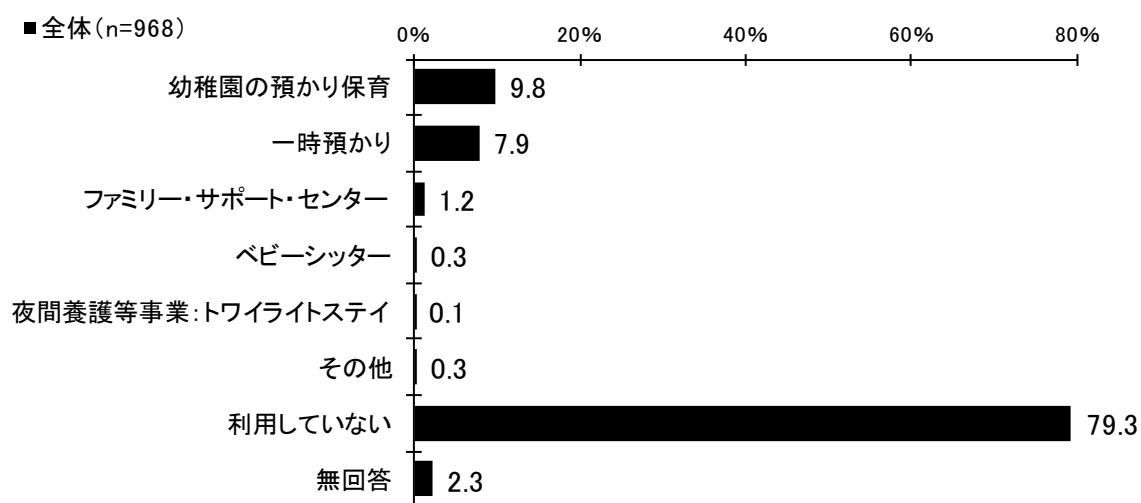
9 不定期の事業・宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(45) 不定期に利用している教育・保育事業

問23 宛名のお子さんについて、平日の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。【複数回答】

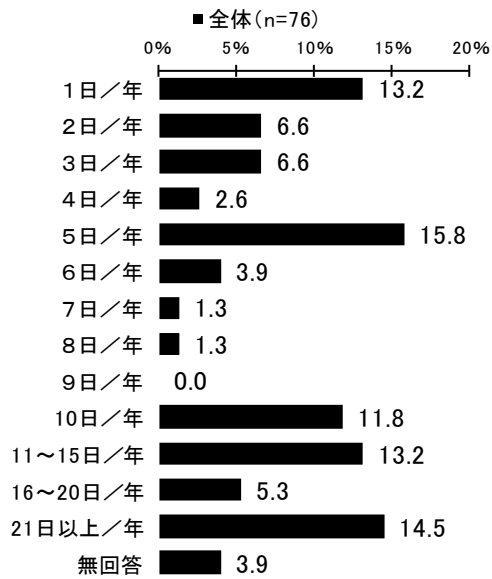
不定期な教育・保育事業の利用状況について、「幼稚園の預かり保育」の割合が9.8%で最も高く、次いで「一時預かり」(7.9%)が続き、以下「ファミリー・サポート・センター」(1.2%)などの順となっています。なお、「利用していない」は79.3%でした。

不定期に利用している教育・保育事業【複数回答】

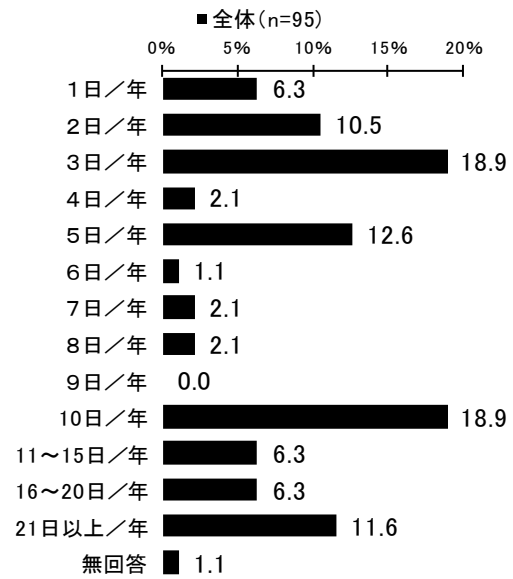


1年間の利用日数

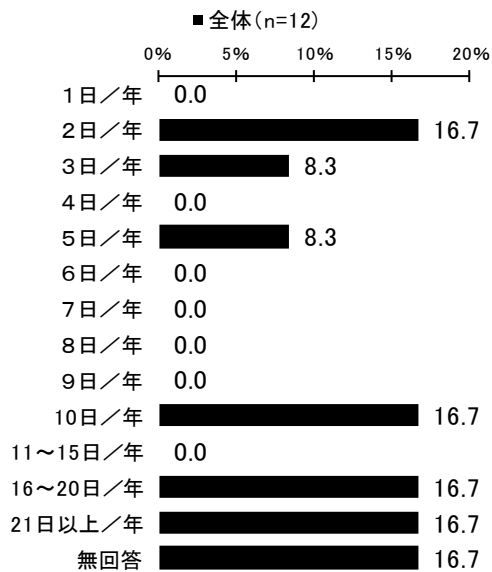
1. 一時預かり



2. 幼稚園の預かり保育



3. ファミリー・サポート・センター



4. 夜間養護等事業:トワイライトステイ

カテゴリー名	n (人)
1日/年	1

5. ベビーシッター

カテゴリー名	n (人)
5日/年	1
16~20日/年	2

6. その他

カテゴリー名	n (人)
1日/年	1
5日/年	1
11~15日/年	1

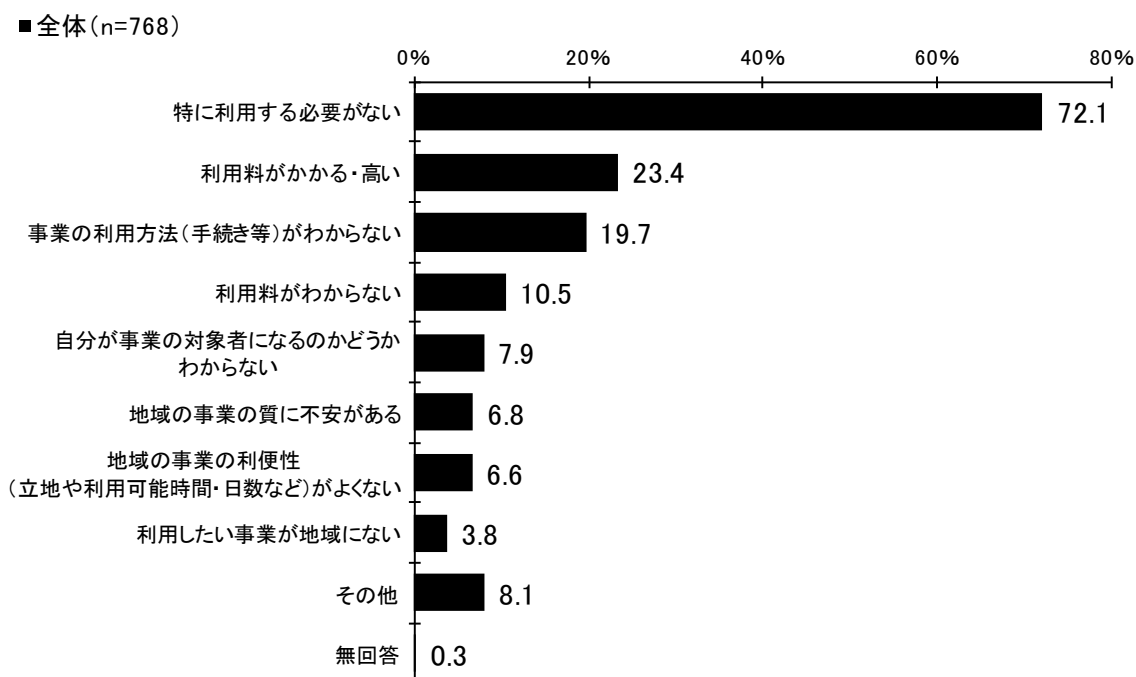
(46) 不定期な教育・保育事業を利用しない理由

問23で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。【複数回答】

不定期な教育・保育事業を利用しない理由については、「特に利用する必要がない」の割合が72.1%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」(23.4%)が続き、以下「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(19.7%)、「利用料がわからない」(10.5%)などの順となっています。

不定期な教育・保育事業を利用しない理由【複数回答】

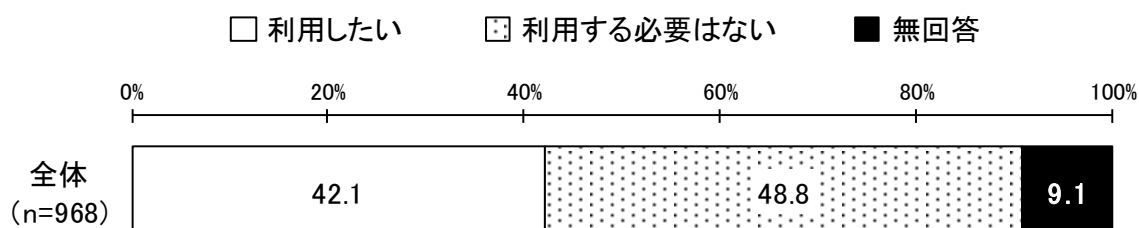


(47) 不規則な教育・保育事業の利用希望

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

不規則な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が48.8%で、「利用したい」(42.1%)を上回ります。

不規則な教育・保育事業の利用希望

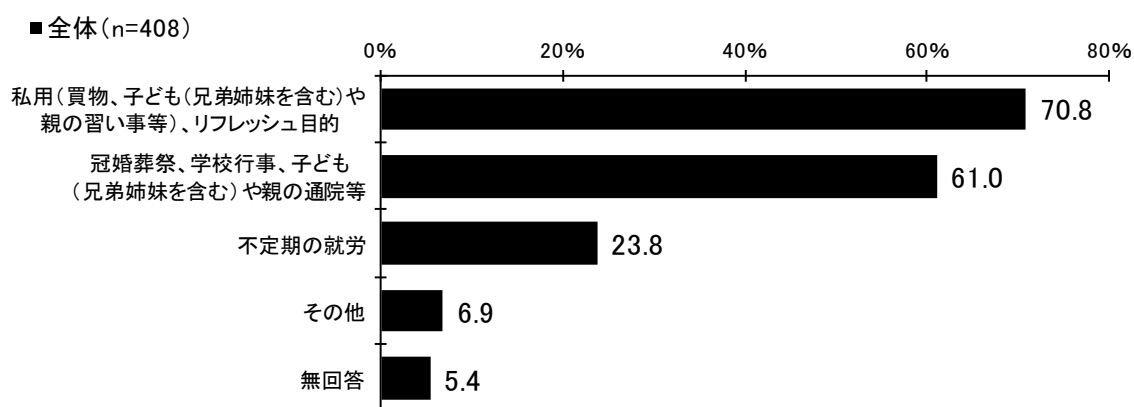


①利用したい目的

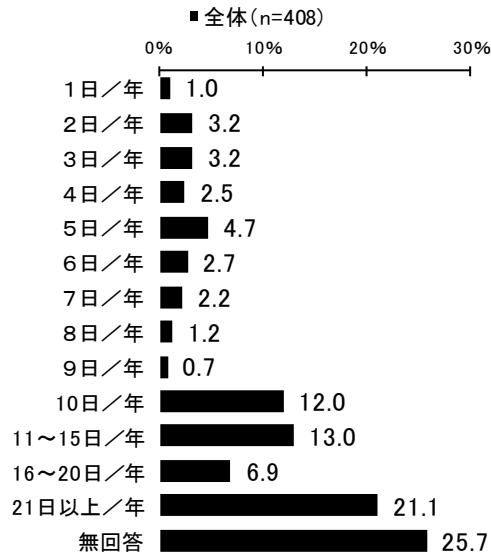
利用したい目的については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が70.8%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（61.0%）が続き、以下「不規則の就労」（23.8%）などの順となっています。

1年間で利用したい日数については、全体では「21日以上/年」の割合が21.1%で最も高くなっています。

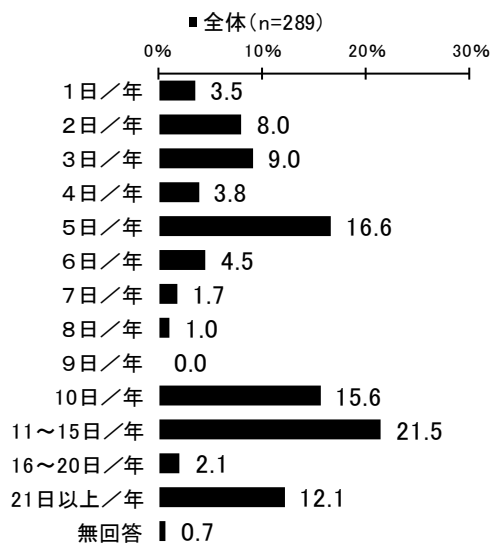
不規則な教育・保育事業を利用したい目的【複数回答】



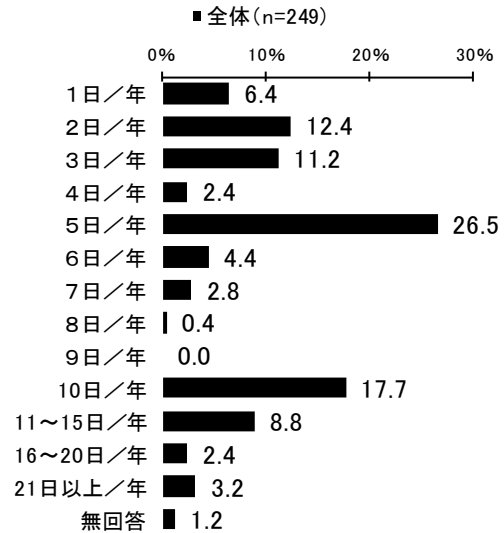
1年間で利用したい日数



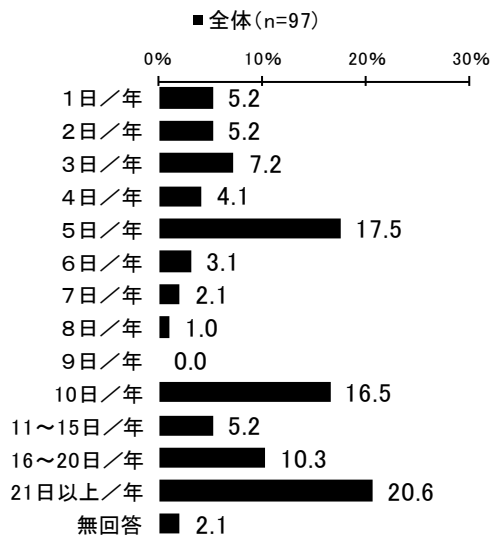
①私用、リフレッシュ目的



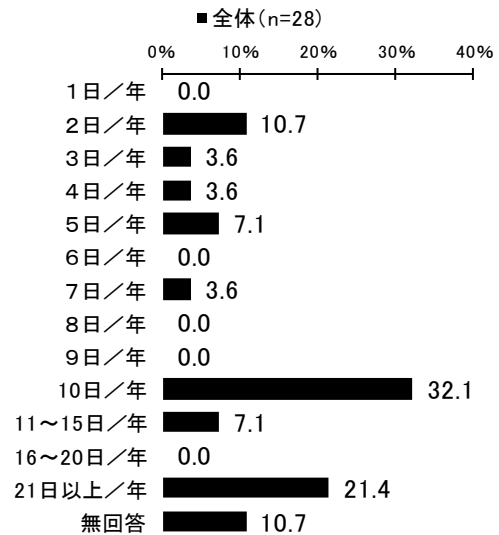
②冠婚葬祭、学校行事、家族の通院



③不定期の就労



④その他



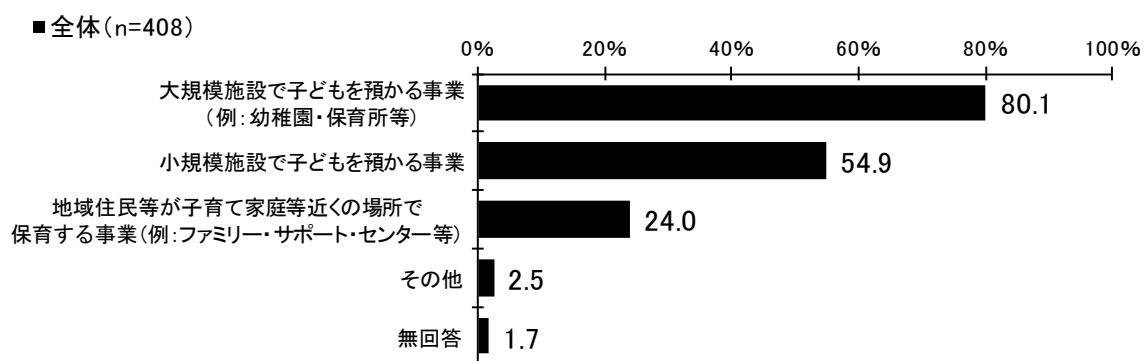
(48) 望ましい事業形態

問24で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問24-1 問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。【複数回答】

望ましい事業形態については、「大規模施設で子どもを預かる事業（例：幼稚園・保育所等）」の割合が80.1%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを預かる事業」（54.9%）が続き、以下「地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」（24.0%）などの順となっています。

望ましい事業形態【複数回答】

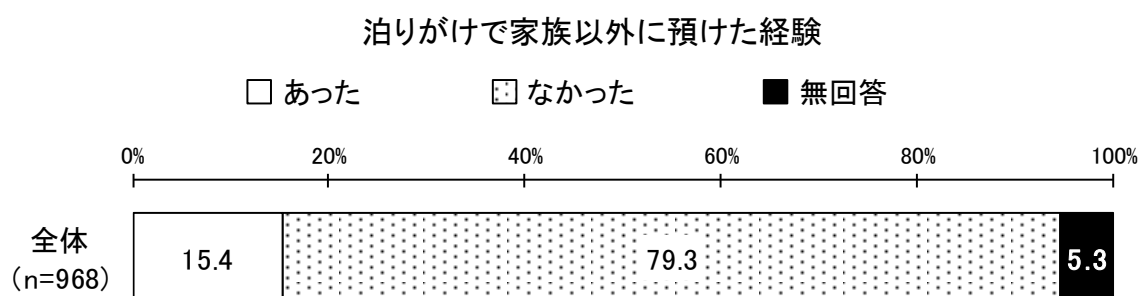


(49) 泊りがけで家族以外に預けた経験

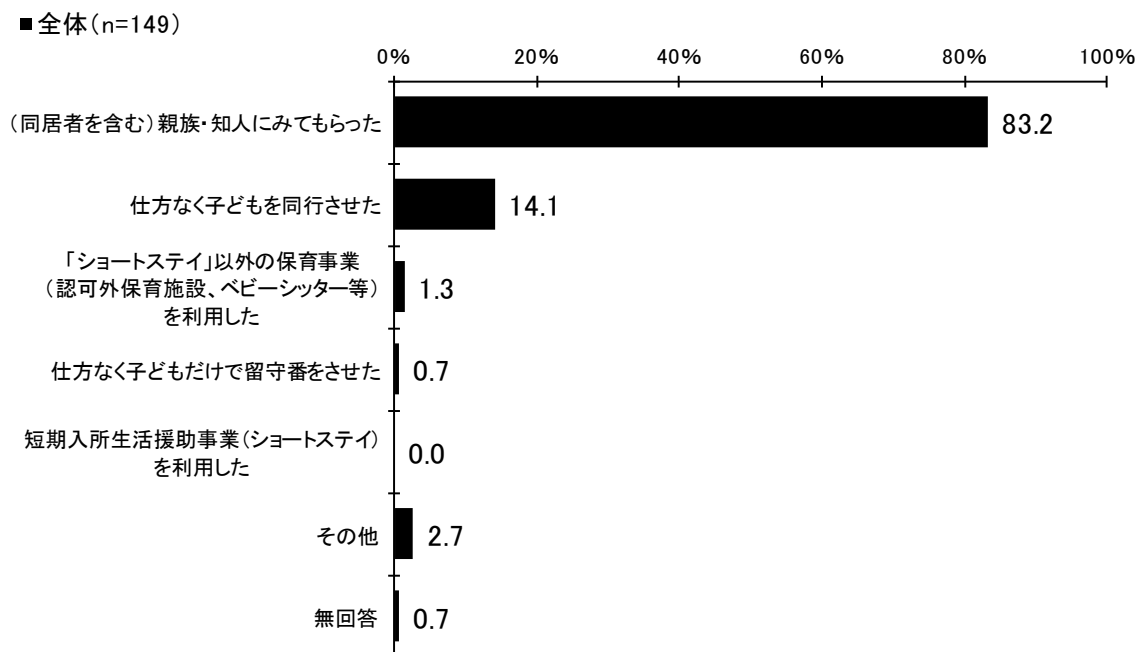
問25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

泊りがけで家族以外に預けた経験については、「あった」が15.4%、「なかった」が79.3%となっています。

泊りがけで預ける必要があった際の対処方法については、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が83.2%で最も高く、他を大きく引き離します。次いで「仕方なく子どもを同行させた」（14.1%）が続きます。

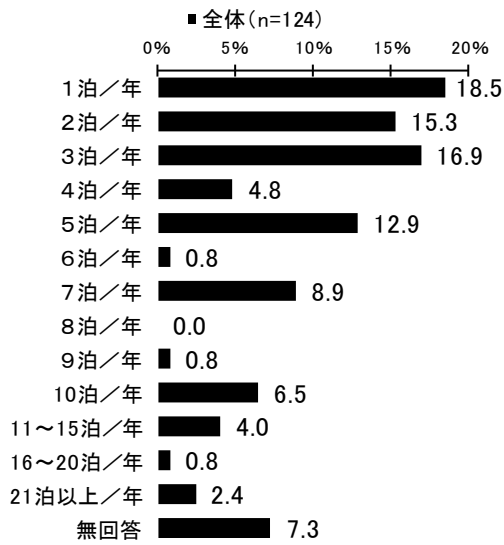


泊りがけで預ける必要があった際の対処方法【複数回答】



対応した日数

①親族・知人に預けた



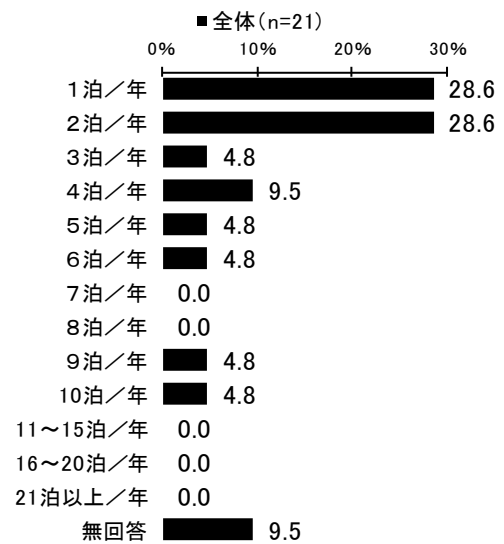
②ショートステイを利用

該当者なし

③ショートステイ以外を利用

カテゴリー名	n (人)
2泊/年	1
無回答	1

④子どもを同行させた



⑤子どもだけで留守番をさせた

カテゴリー名	n (人)
1泊/年	1

⑥その他

カテゴリー名	n (人)
1泊/年	2
2泊/年	1
無回答	1

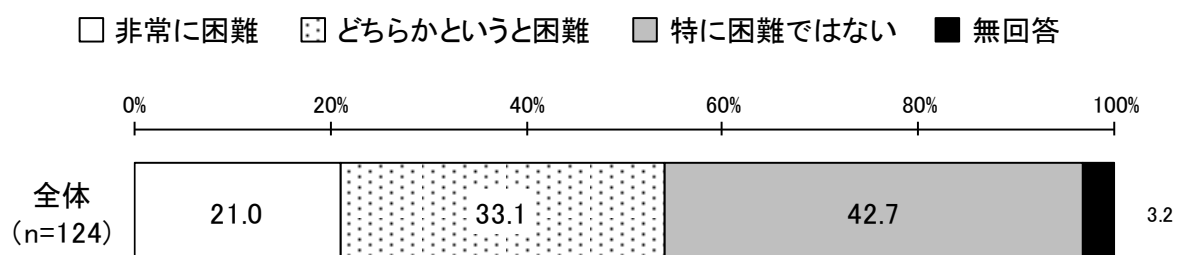
(50) 泊りがけで家族以外に預けた際の困難度

問25で「あった ① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

問25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。

泊りがけで家族以外に預けた際の困難度については、「特に困難ではない」の割合が42.7%で最も高く、次いで「どちらかという困難」(33.1%)が続き、以下「非常に困難」(21.0%)の順となっています。

泊りがけで家族以外に預けた際の困難度



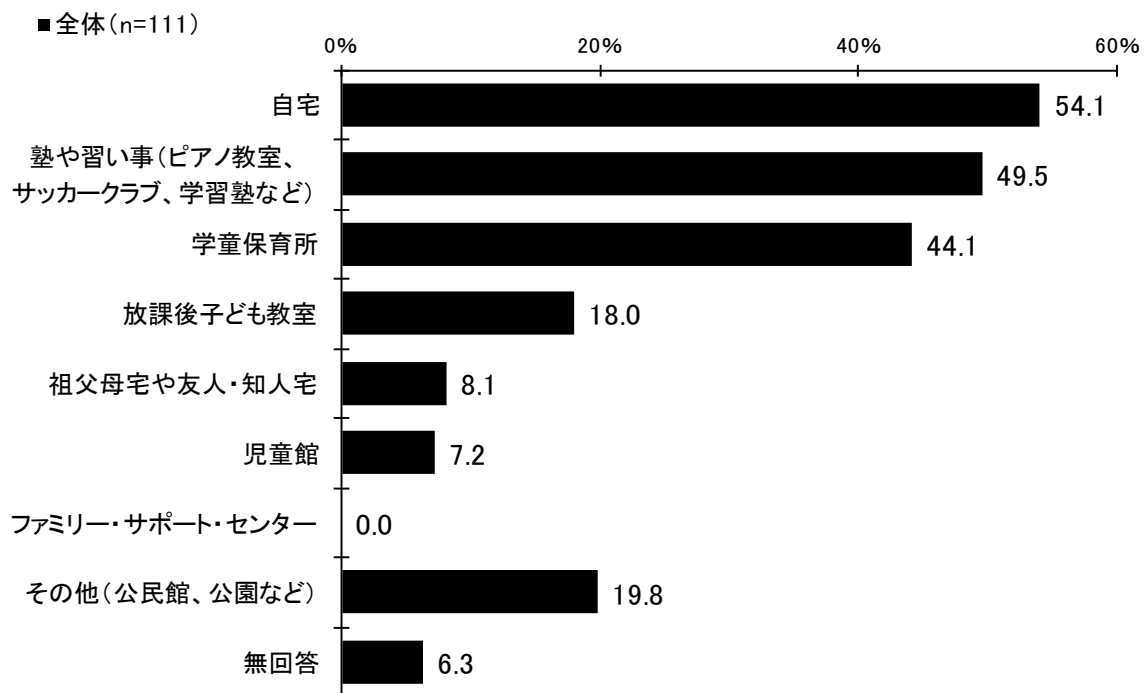
10 5歳以上のお子さんの放課後の過ごし方の希望について

(51) 小学校1～3年生の間に放課後過ごさせたい場所

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【複数回答】

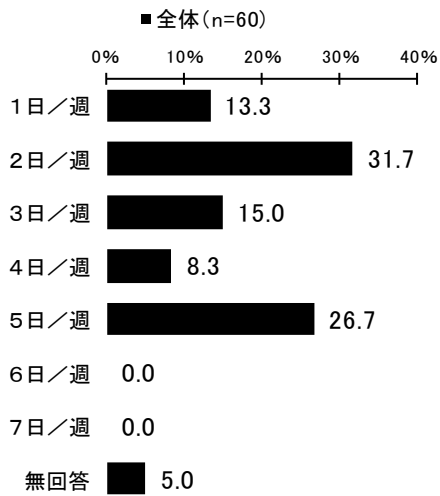
小学校1～3年生の間に放課後過ごさせたい場所については、「自宅」の割合が54.1%で最も高く、次いで「塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（49.5%）が続き、以下「学童保育所」（44.1）などの順となっています。

小学校低学年のうちで放課後過ごさせたい場所【複数回答】



1週間で利用する日数

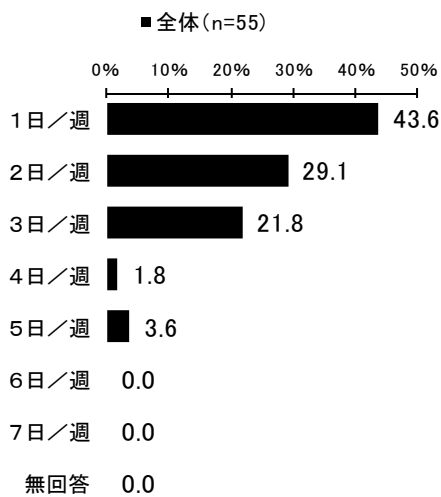
1. 自宅



2. 祖父母宅や友人・知人宅

カテゴリ名	n (人)
1日/週	5
2日/週	1
3日/週	1
4日/週	1
5日/週	1

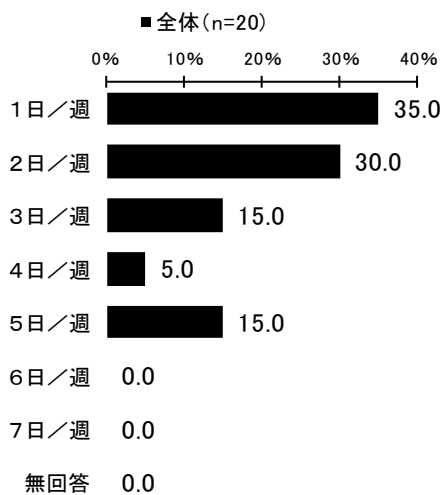
3. 塾や習い事



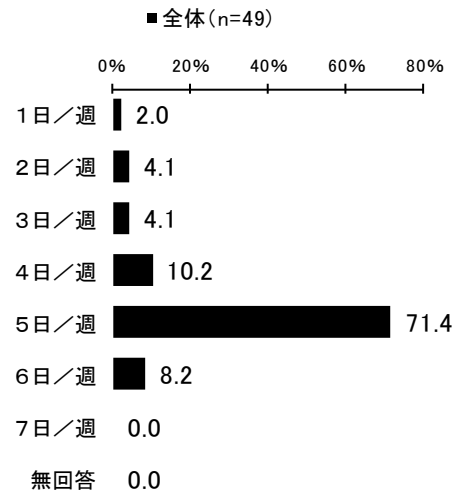
4. 児童館

カテゴリ名	n (人)
1日/週	3
2日/週	3
3日/週	1
5日/週	1

5. 放課後子ども教室



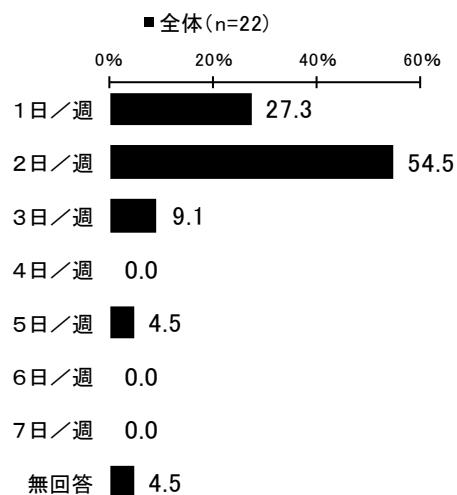
6. 学童保育所



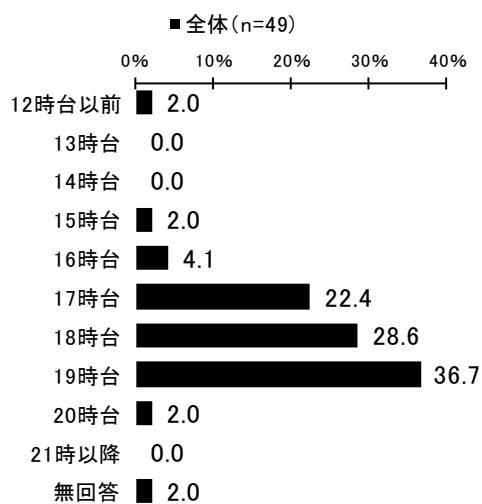
7. ファミリー・サポート・センター

該当者なし

8. その他



学童保育所の希望終了時刻

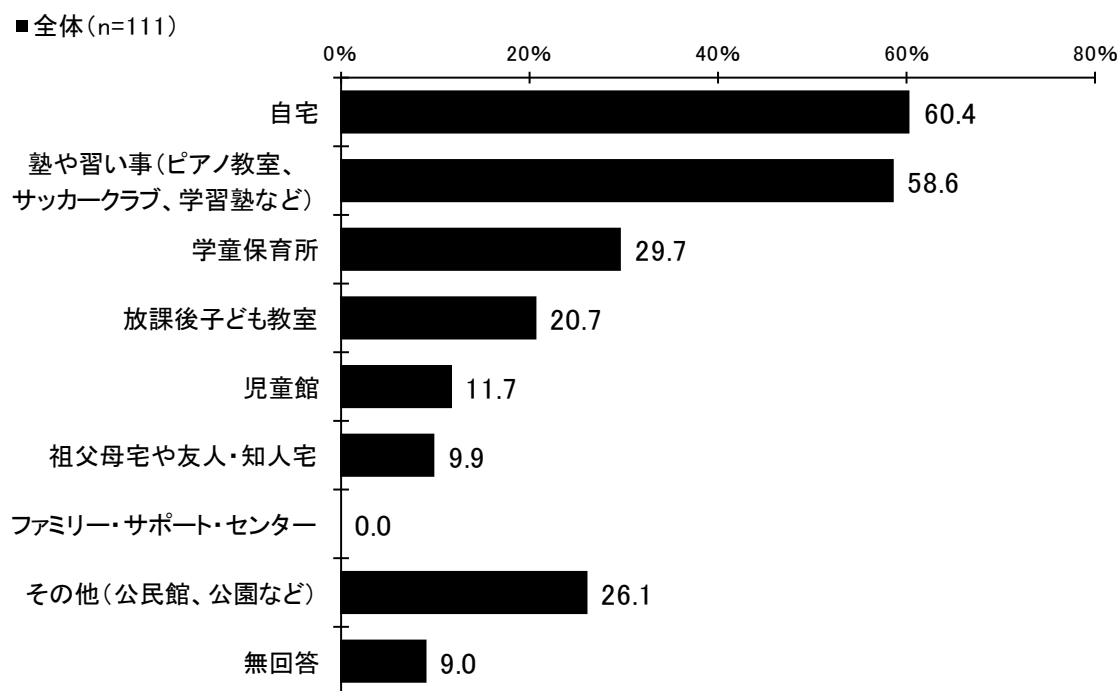


(52) 小学校4～6年生の間に放課後過ごさせたい場所

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【複数回答】

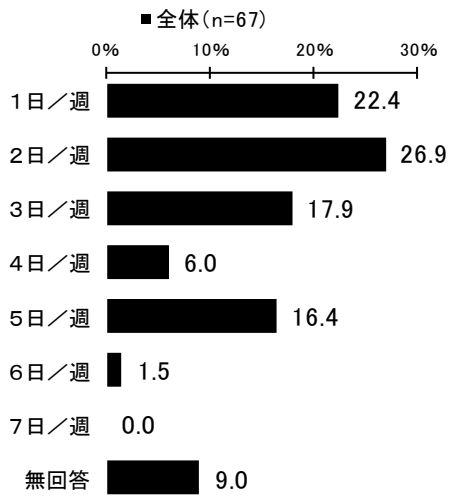
小学校4～6年生の間に放課後過ごさせたい場所については、「自宅」の割合が60.4%で最も高く、次いで「塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（58.6%）が続き、以下「学童保育所」（29.7%）、「放課後子ども教室」（20.7%）などの順となっています。

小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所【複数回答】

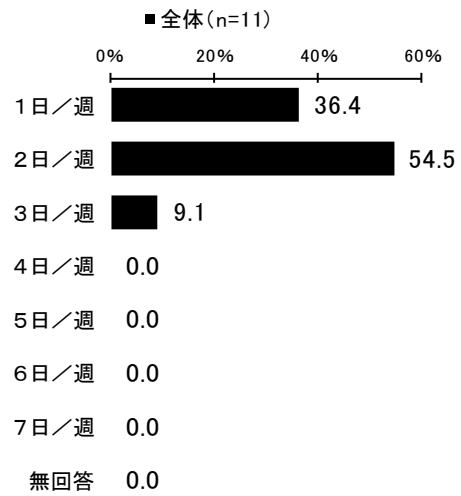


1週間で利用したい日数

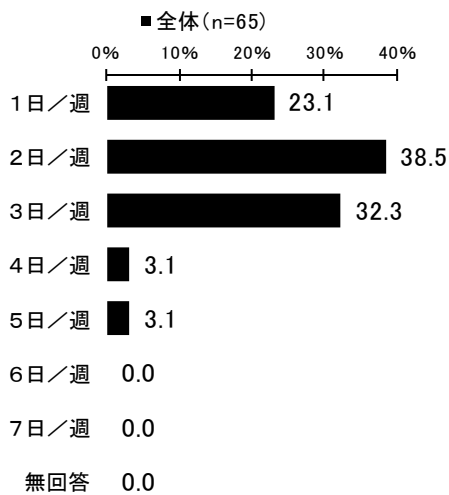
1. 自宅



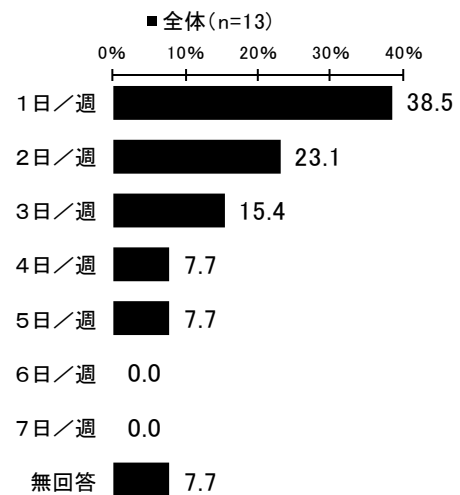
2. 祖父母宅や友人・知人宅



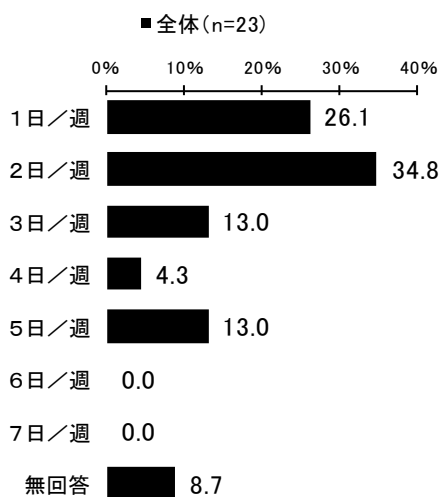
3. 塾や習い事



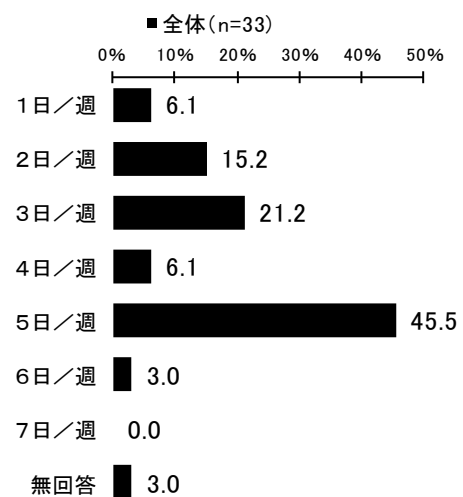
4. 児童館



5. 放課後子ども教室



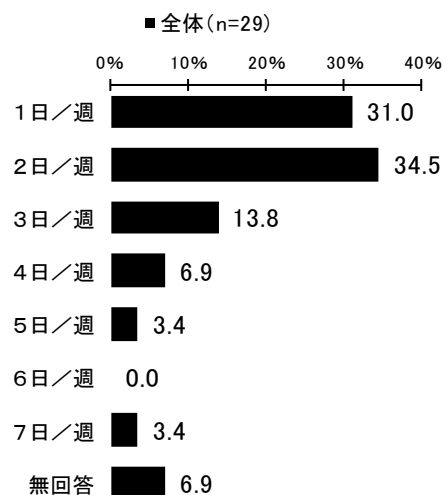
6. 学童保育所



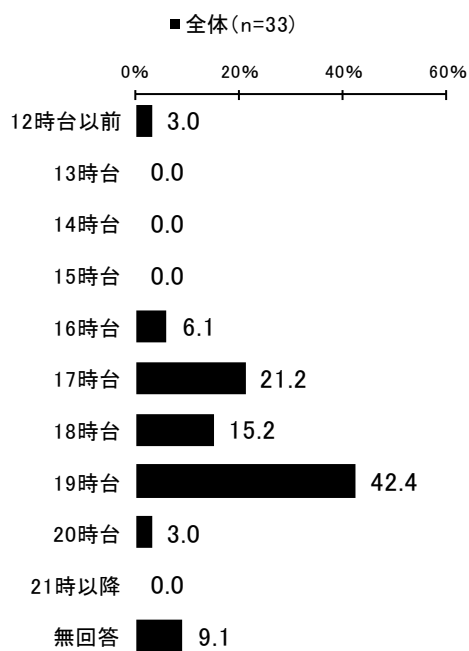
7. ファミリー・サポート・センター

該当者なし

8. その他



学童保育所の希望終了時刻



(53) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育所利用希望

問26または問27で「学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。

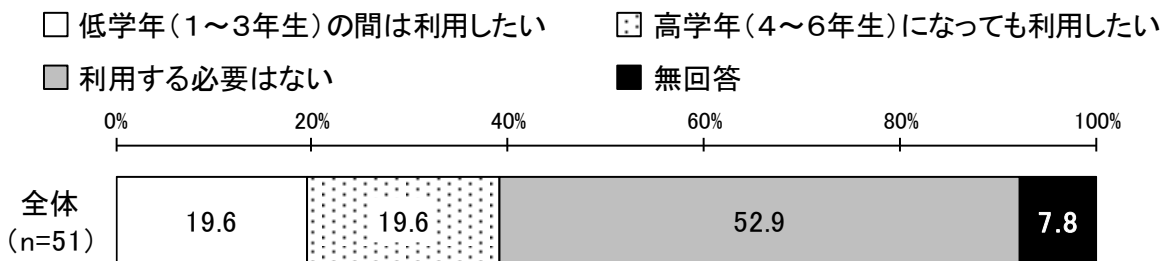
問28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。

①土曜日

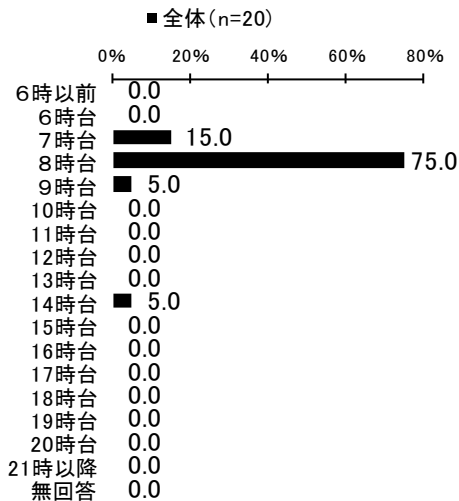
土曜日の学童保育所利用希望については、「利用する必要はない」の割合が52.9%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」及び「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（同率19.6%）の順となっています。

希望する利用開始時刻は「8時台」の割合が75.0%、終了時刻は「18時台」の割合が40.0%でそれぞれ最も高くなっています。

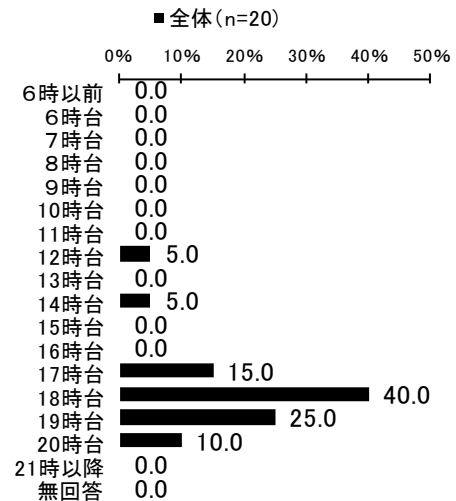
土曜日の学童保育所利用希望



希望する利用開始時刻



希望する利用終了時刻

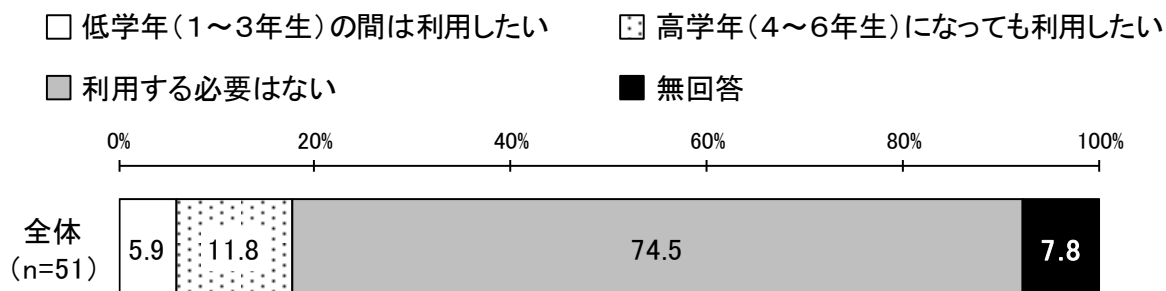


②日曜・祝日

日曜・祝日の学童保育所利用希望については、「利用する必要はない」の割合が74.5%で最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（11.8%）が続き、以下「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（5.9%）の順となっています。

希望する利用開始時刻は「8時台」が7人、終了時刻は「18時台」及び「19時台」が3人でそれぞれ最も多くなっています。

日曜・祝日の学童保育所利用希望



希望する利用開始時刻

カテゴリー名	n
7時台	2
8時台	7

希望する利用終了時刻

カテゴリー名	n
14時台	1
18時台	3
19時台	3
20時台	2

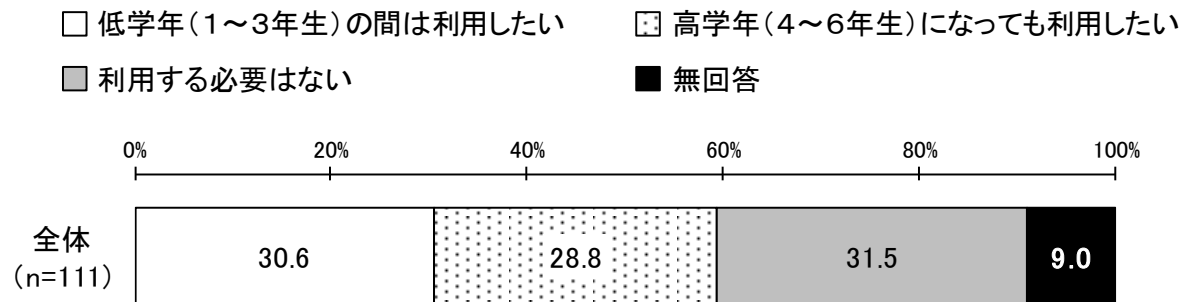
(54) 長期休暇期間中の学童保育所利用希望

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。

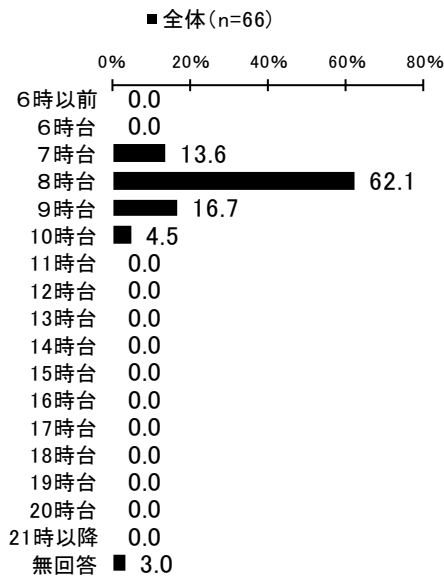
長期休暇期間中の学童保育所利用希望については、「利用する必要はない」の割合が31.5%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（30.6%）が続き、以下「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（28.8%）の順となっています。

希望する利用開始時刻は「8時台」の割合が62.1%、終了時刻は「19時台」が27.3%でそれぞれ最も高くなっています。

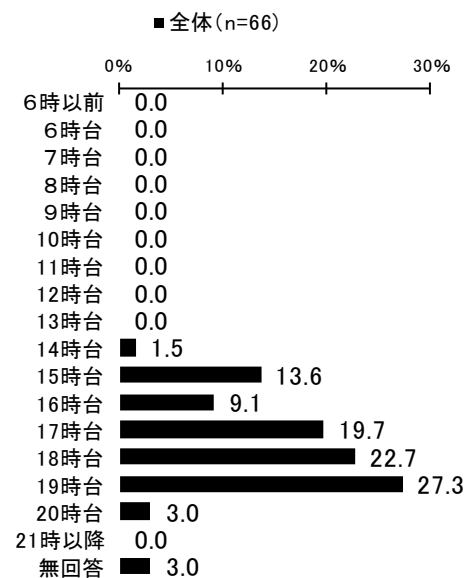
長期休暇期間中の学童保育所利用希望



希望する利用開始時刻



希望する利用終了時刻



11 職場の両立支援制度について

(55) 父母の育児休業の取得状況

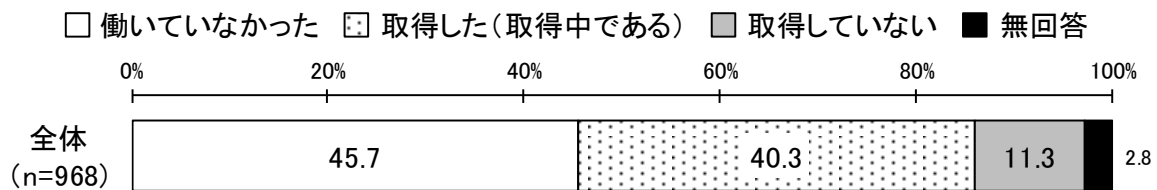
問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

①母親

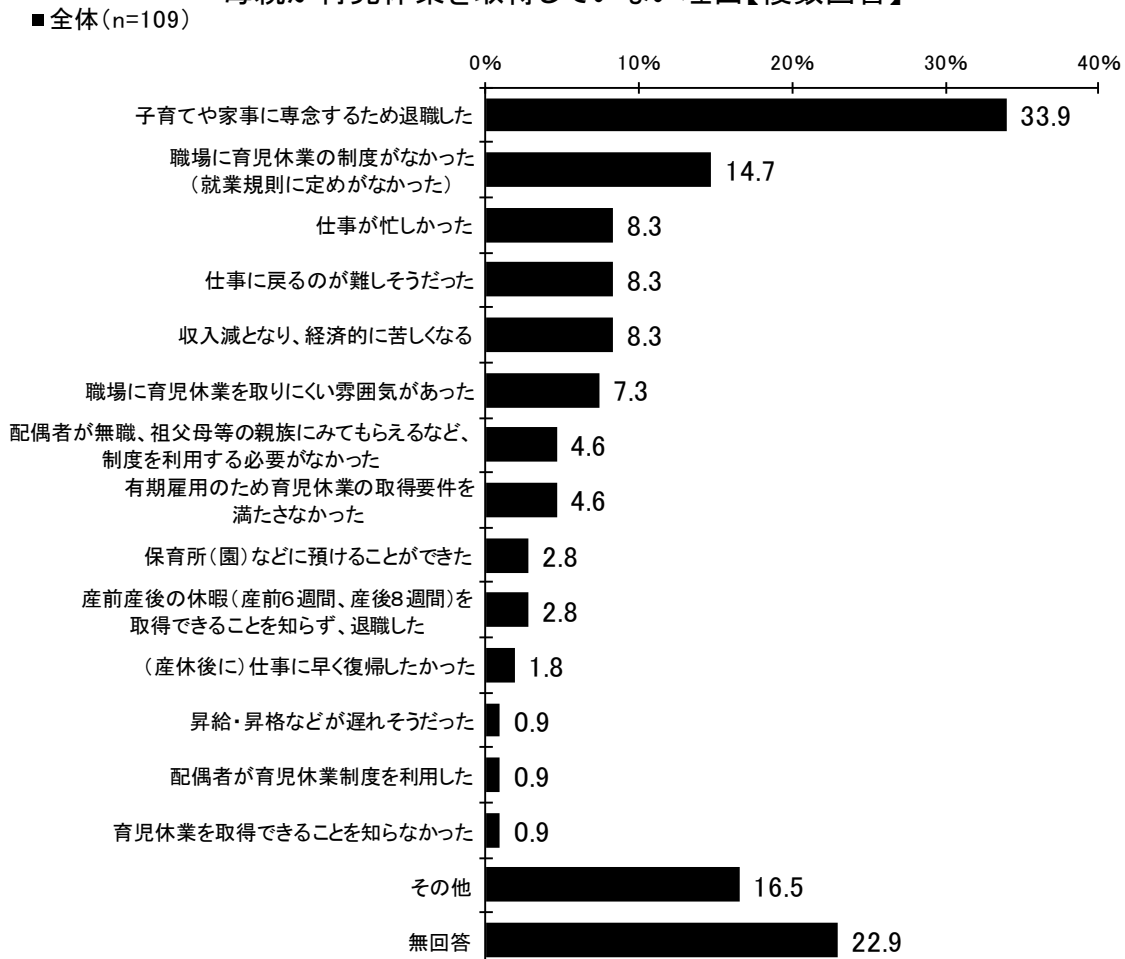
母親の育児休業の取得状況については、「働いていなかった」の割合が45.7%で最も高く、次いで「取得した（取得中である）」（40.3%）が続き、以下「取得していない」（11.3%）の順となっています。

育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が33.9%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（14.7%）が続き、以下「仕事が忙しかった」「仕事に戻るのが難しそうだった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」（同率8.3%）などの順となっています。

母親の育児休業の取得状況



母親が育児休業を取得していない理由【複数回答】

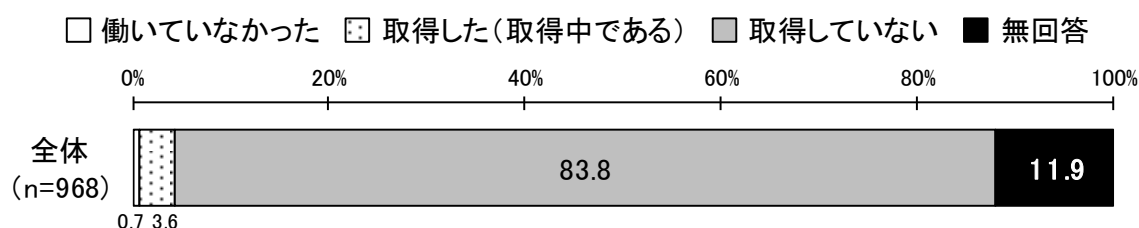


②父親

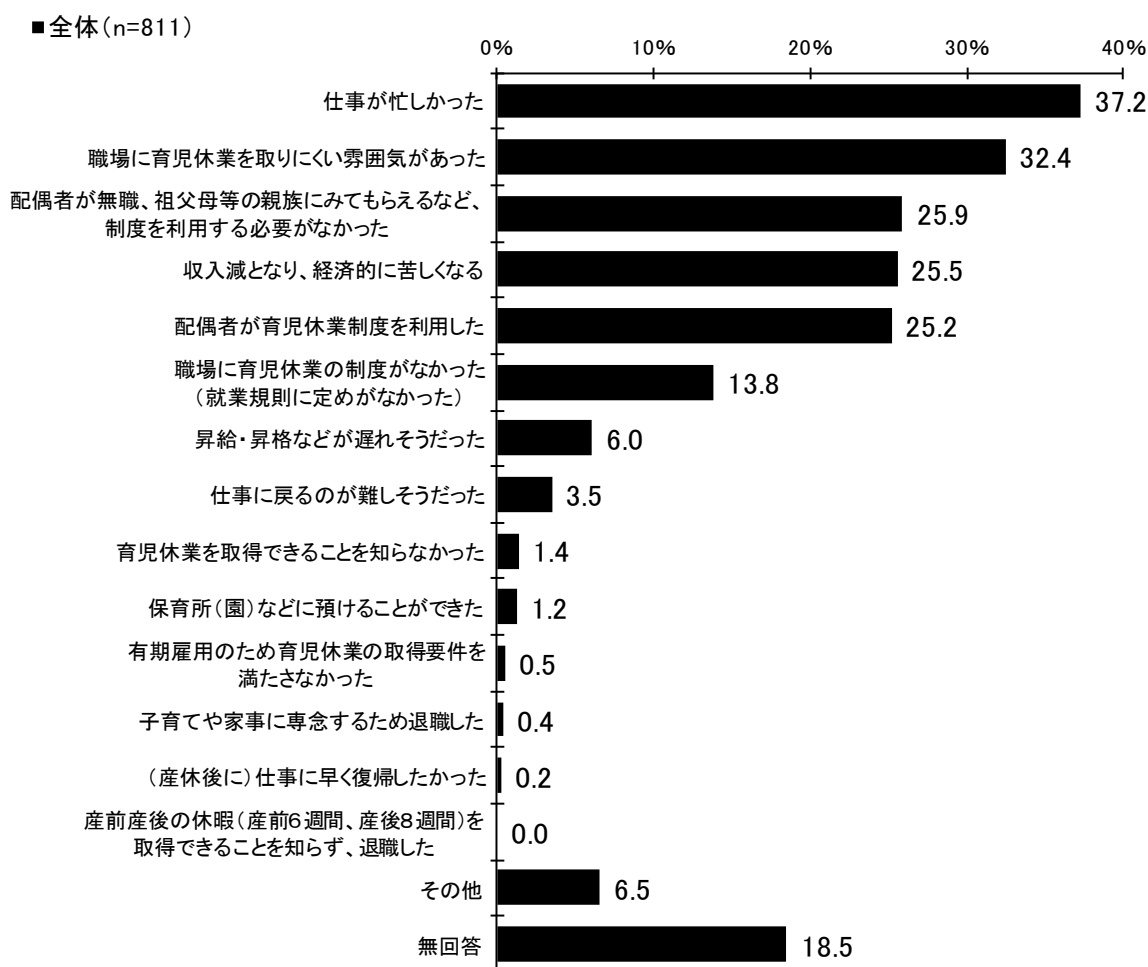
父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」の割合が83.8%で最も高く、8割以上を占めます。

育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」の割合が37.2%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(32.4%)が続き、以下「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(25.9%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(25.5%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(25.2%)などの順となっています。

父親の育児休業の取得状況



父親が育児休業を取得していない理由【複数回答】



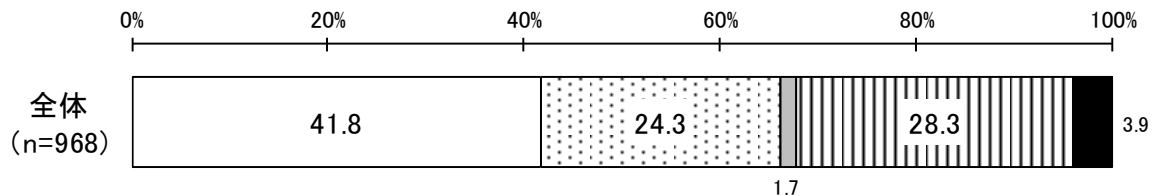
(56) 育児休業給付、保険料免除の仕組みの認知度

問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。

育児休業給付、保険料免除の仕組みの認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が41.8%で最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」（28.3%）が続き、以下「育児休業給付のみ知っていた」（24.3%）などの順となっています。

育児休業給付、保険料免除の仕組みの認知度

- 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 育児休業給付のみ知っていた
- 保険料免除のみ知っていた
- 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
- 無回答



(57) 育児休業取得後の職場復帰状況

問30で「取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

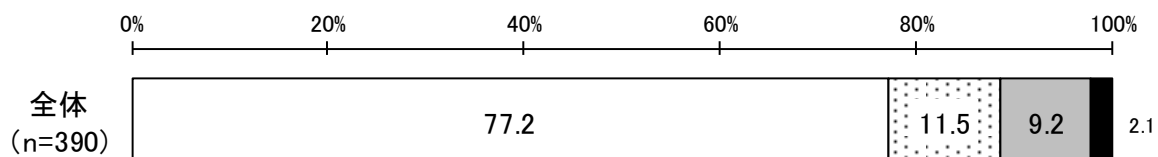
問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

①母親

母親の育児休業取得後の職場復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が77.2%で7割以上を占めます。

母親の育児休業取得後の職場復帰状況

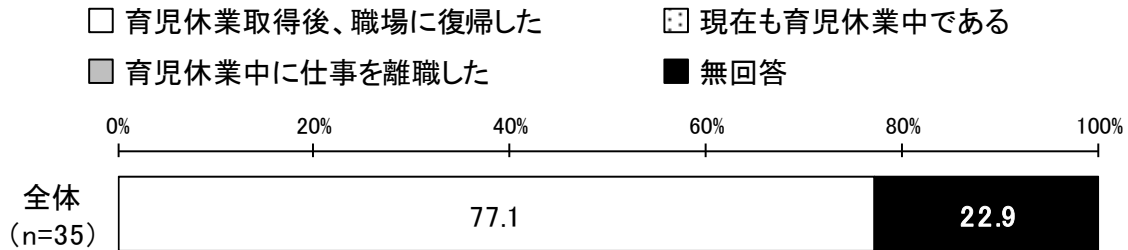
- 育児休業取得後、職場に復帰した
- 現在も育児休業中である
- 育児休業中に離職した
- 無回答



②父親

父親の育児休業取得後の職場復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が77.1%で最も高くなっています。

父親の育児休業取得後の職場復帰状況



(58) 育児休業から職場復帰したタイミング

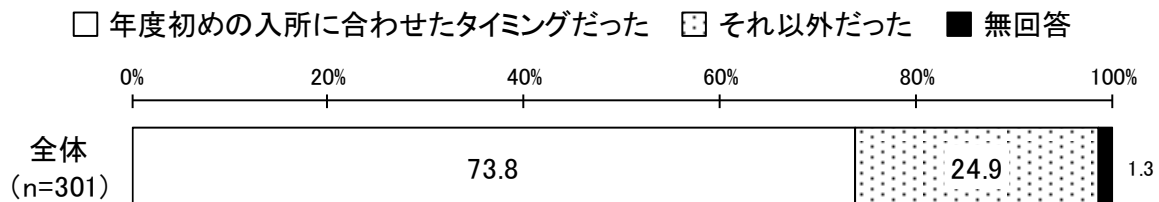
問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

①母親

母親が育児休業から職場復帰したタイミングについては、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が73.8%、「それ以外だった」の割合が24.9%となっています。

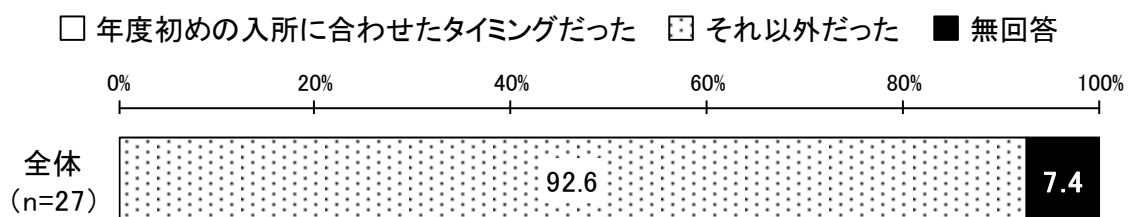
母親が育児休業から職場復帰したタイミング



②父親

父親が育児休業から職場復帰したタイミングについては、「それ（年度初めの入所に合わせたタイミング）以外だった」の割合が92.6%で9割以上を占めます。

父親が育児休業から職場復帰したタイミング



(59) 実際に育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢

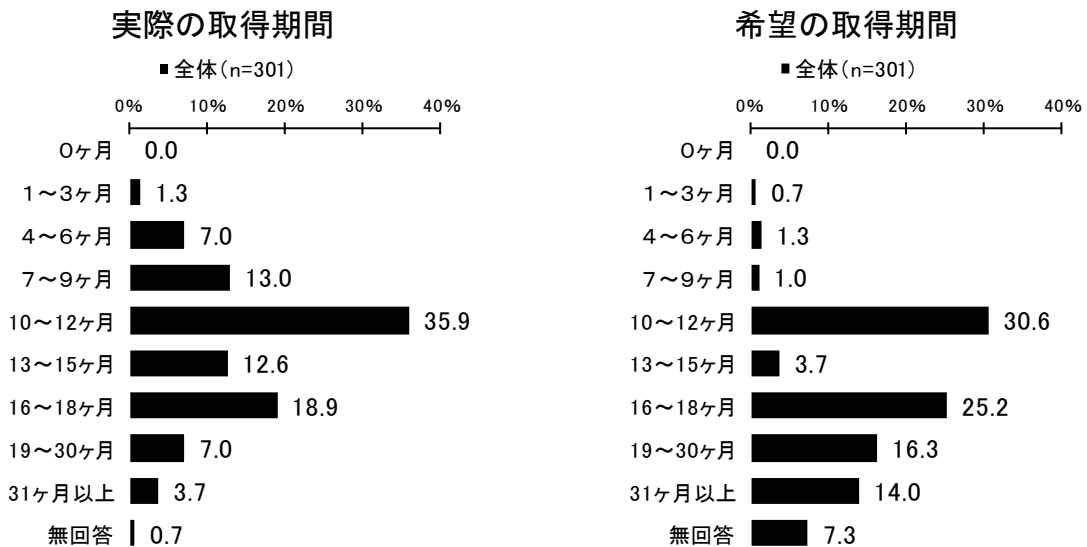
問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんは何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

①母親

母親が実際に育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢については、実際の取得期間、希望の取得期間ともに「10～12ヶ月」の割合が最も高くなっています。実際の取得期間では9ヶ月未満の割合が希望の取得期間の同年齢層に比べて高くなっています。

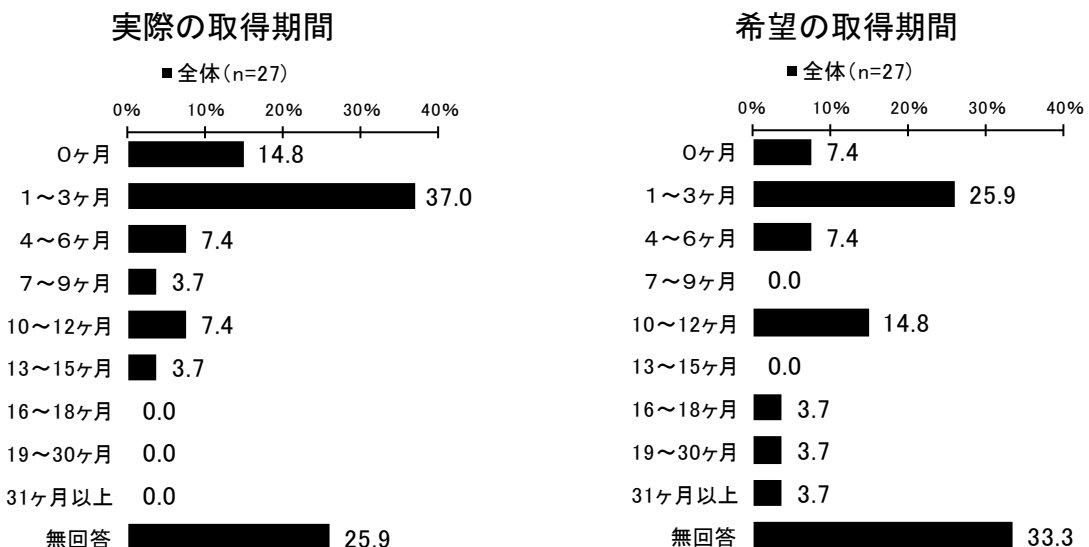
母親が育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢



②父親

父親が実際に育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢については、実際の取得期間、希望の取得期間ともに「1～3ヶ月」の割合が最も高くなっています。

父親が育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢

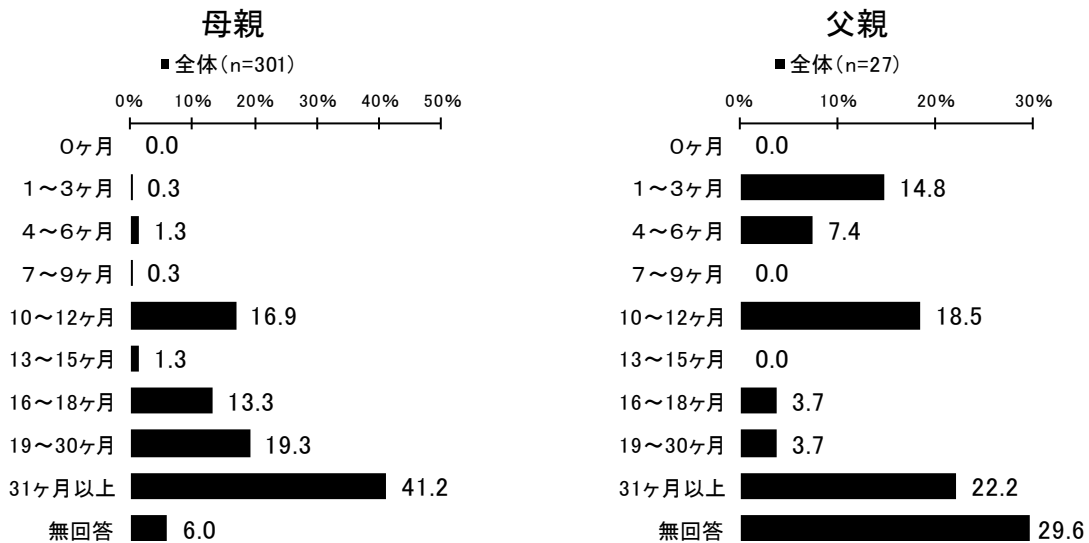


(60) 3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合希望する期間

問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合の子どもの年齢については、父母ともに「31ヶ月以上」の割合が最も高く、母親は41.2%、父親は22.2%となっています。

3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合希望する期間



(61) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

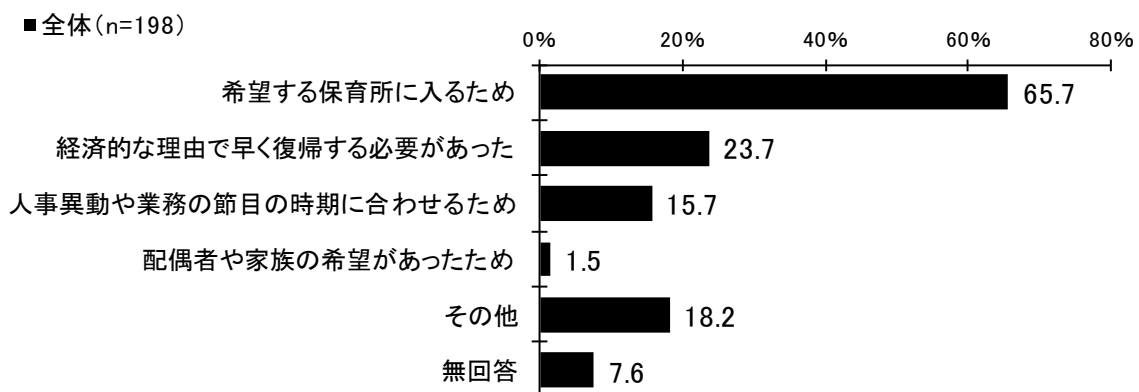
問30-4で実際と希望が異なる方にうかがいます。
 問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

①母親

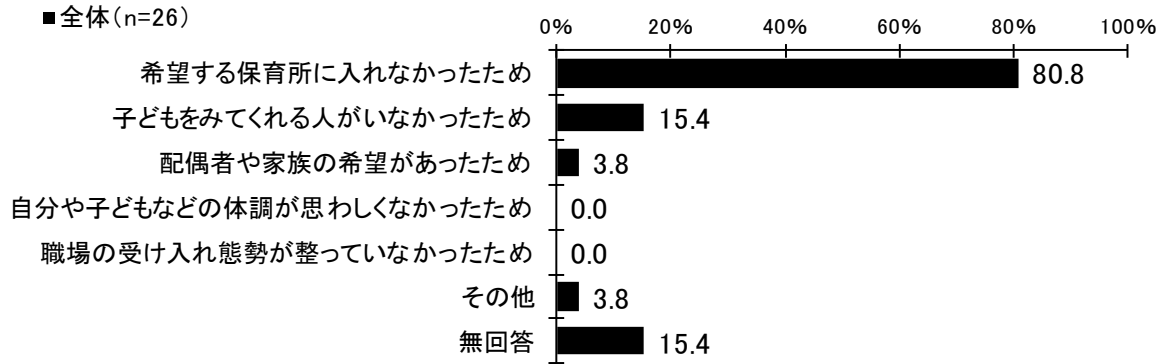
母親で「希望」より早く復帰した方の理由については、「希望する保育所に入るため」の割合が65.7%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(23.7%)が続き、以下「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(15.7%)などの順となっています。

一方、「希望」より遅く復帰した方の理由については、「希望する保育園等に入れなかったため」の割合が80.8%で最も高く、他を引き離します。

「希望」より早く復帰した母親の理由



「希望」より遅く復帰した母親の理由



②父親

父親で「希望」より早く復帰した方の理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が4人で最も多くなっています。

「希望」より早く復帰した父親の理由

カテゴリー名	n (人)
経済的な理由で早く復帰する必要がある	4
配偶者や家族の希望があったため	2
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	2
その他	1
無回答	1

「希望」より遅く復帰した父親の理由…該当者なし

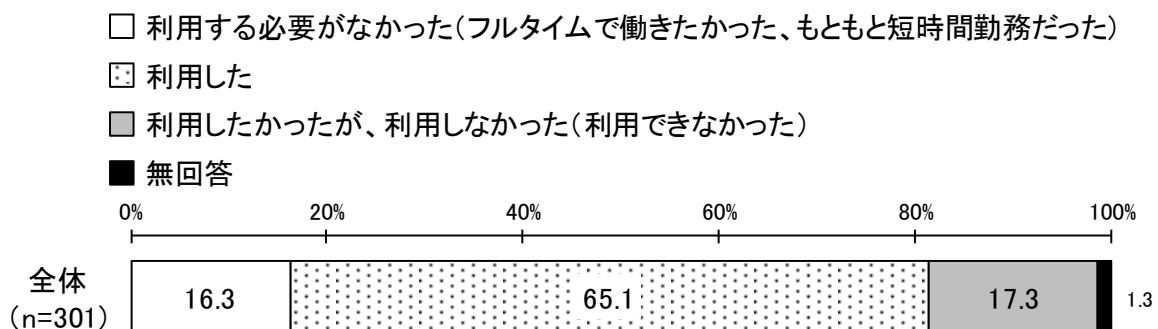
(62) 短時間勤務制度の利用について

問30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。
問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

①母親

母親の短時間勤務制度の利用については、「利用した」の割合が65.1%で最も高く、次いで「利用したかったが利用しなかった(利用できなかった)」(17.3%)が続きます。

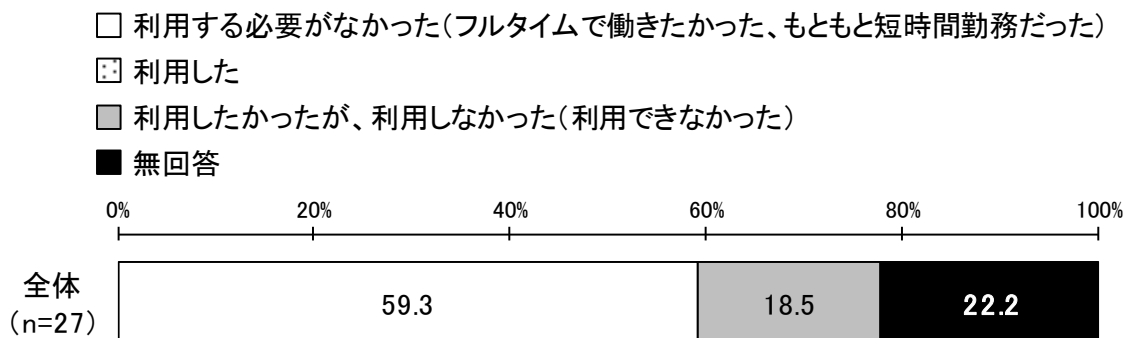
母親の短時間勤務制度の利用について



②父親

父親の短時間勤務制度の利用については、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が59.3%で最も高く、次いで「利用したかったが利用しなかった(利用できなかった)」(18.5%)が続きます。

父親の短時間勤務制度の利用について



(63) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

問30-7で「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にかがいます。

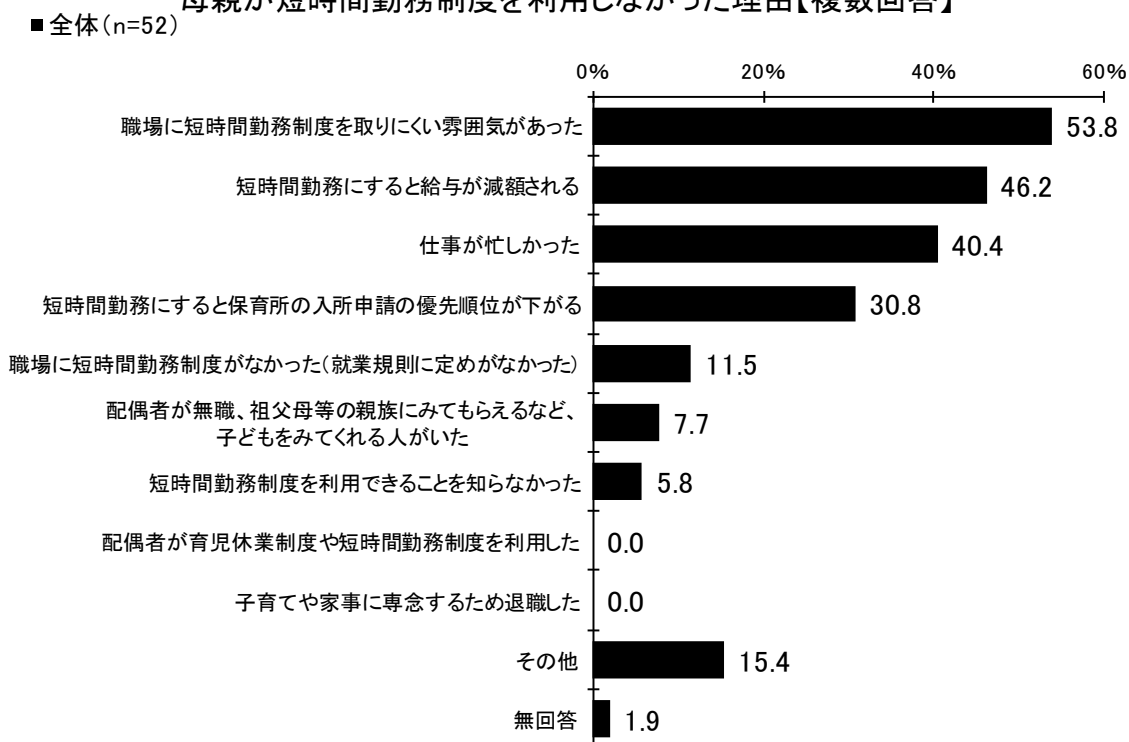
問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

【複数回答】

①母親

母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が53.8%で最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」(46.2%)が続く、以下「仕事が忙しかった」(40.4%)などの順となっています。

母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由【複数回答】



②父親

父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「仕事が忙しかった」及び「短時間勤務にすると給与が減額される」がそれぞれ4人で最も多くなっています。

父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由

カテゴリー名	n (人)
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1
仕事が忙しかった	4
短時間勤務にすると給与が減額される	4
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	1
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	1

(64) 子どもが1歳になったとき必ず預けられる事業があった場合

問30-2で「現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

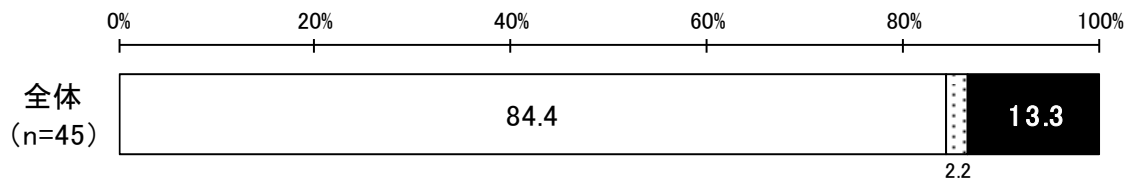
問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

①母親

子どもが1歳になったとき必ず預けられる事業があった場合、母親については、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が84.4%で8割以上を占めます。

子どもが1歳になったとき必ず預けられる事業があった場合の母親について

1歳になるまで育児休業を取得したい 1歳になる前に復帰したい 無回答



②父親

父親については、該当者がいませんでした。

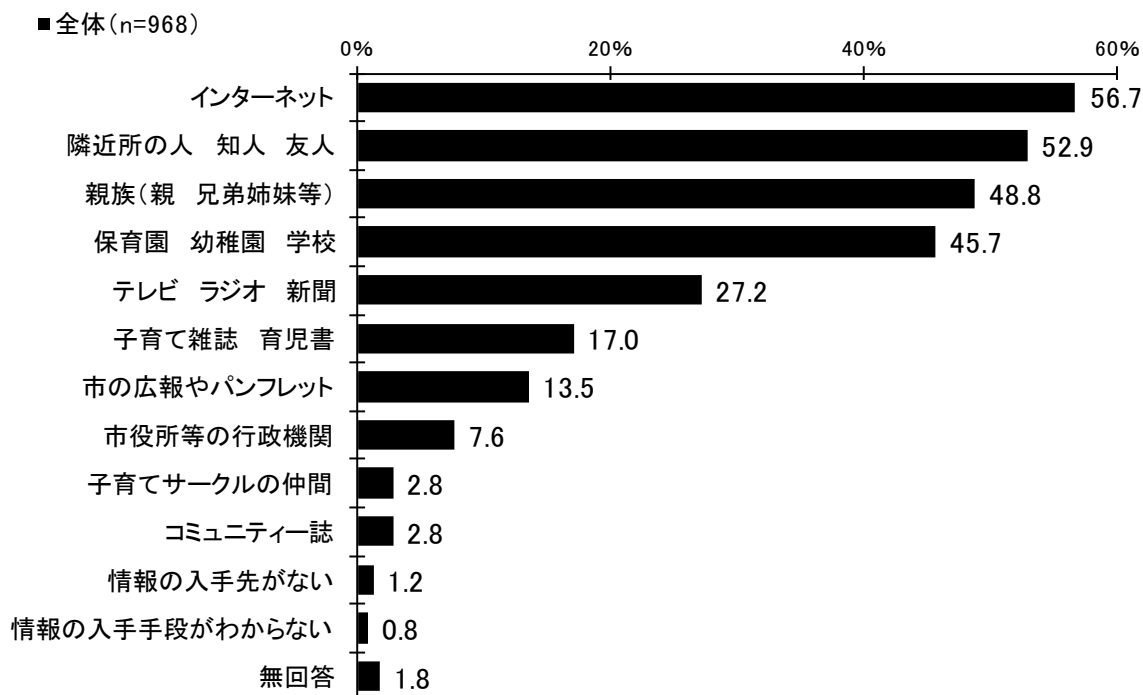
12 子育て全般のことについて

(65) 子育てに関する情報の入手先

問31 子育てに関する情報を主にどこ（だれ）から入手していますか。【複数回答】

子育てに関する情報の入手先については、「インターネット」の割合が56.7%で最も高く、次いで「隣近所の人 知人 友人」(52.9%)が続き、以下「親族（親 兄弟姉妹等）」(48.8%)、「保育園 幼稚園 学校」(45.7%)などの順となっています。

子育てに関する情報の入手先【複数回答】

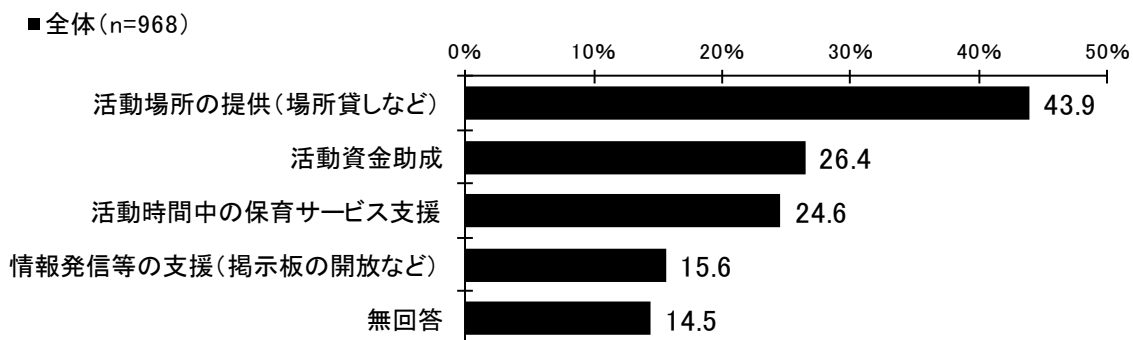


(66) 子育てサークルの自主活動において市に望む支援

問32 子育てに関するサークルを自主活動をしていくにあたって、市にどのような支援を行ってほしいですか。【複数回答】

子育てサークルの自主活動で市に望む支援については、「活動場所の提供（場所貸しなど）」の割合が43.9%で最も高く、次いで「活動資金助成」（26.4%）が続き、以下「活動時間中の保育サービス支援」（24.6%）などの順となっています。

子育てサークルの自主活動において市に望む支援【複数回答】

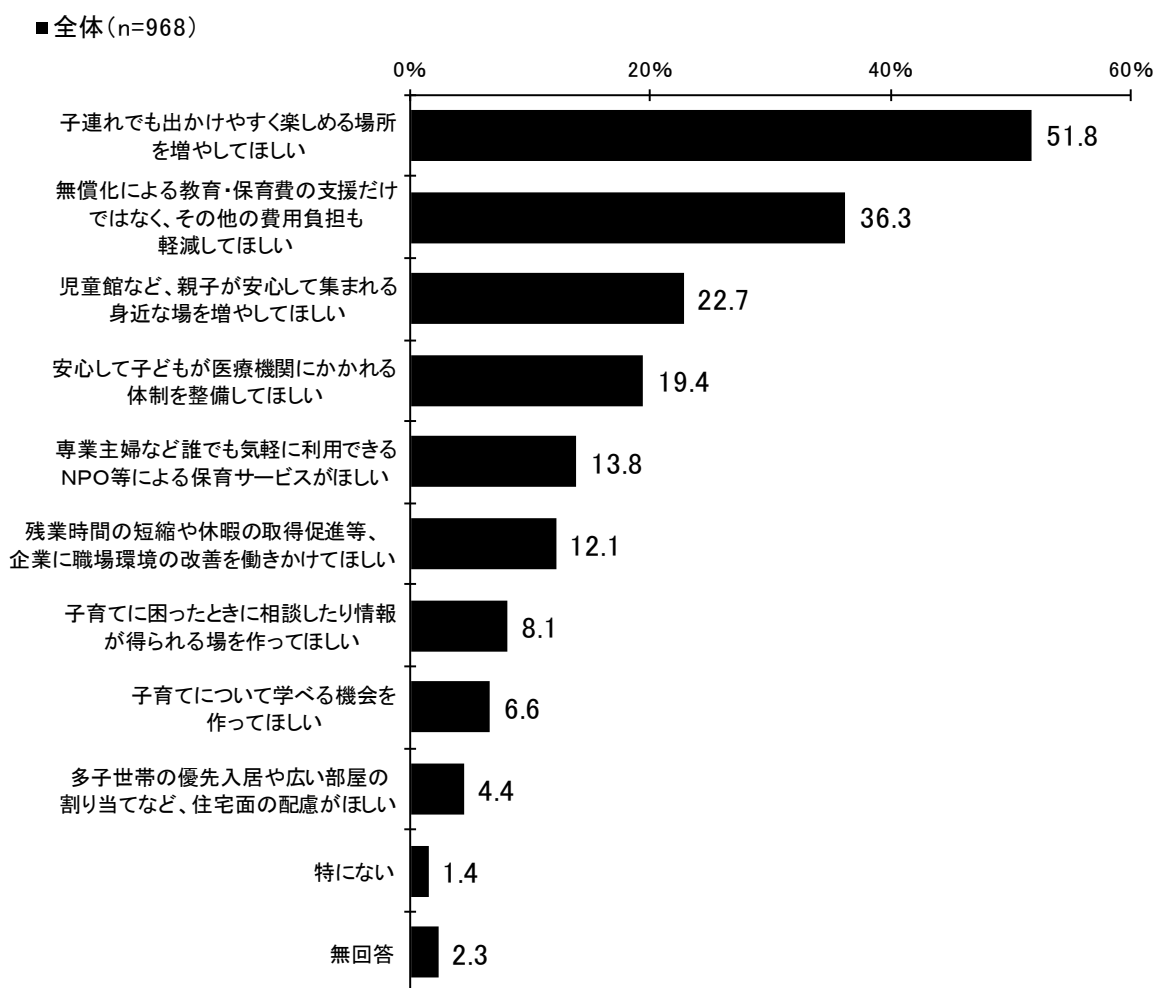


(67) 市に図ってほしい子育て支援の充実

問33 市に対してどのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。【複数回答】

市に図ってほしい子育て支援の充実については、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」の割合が51.8%で最も高く、次いで「無償化による教育・保育費の支援だけでなく、その他の費用負担も軽減してほしい」(36.3%)が続き、以下「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場を増やしてほしい」(22.7%)、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」(19.4%)などの順となっています。

市に図ってほしい子育て支援の充実【複数回答】

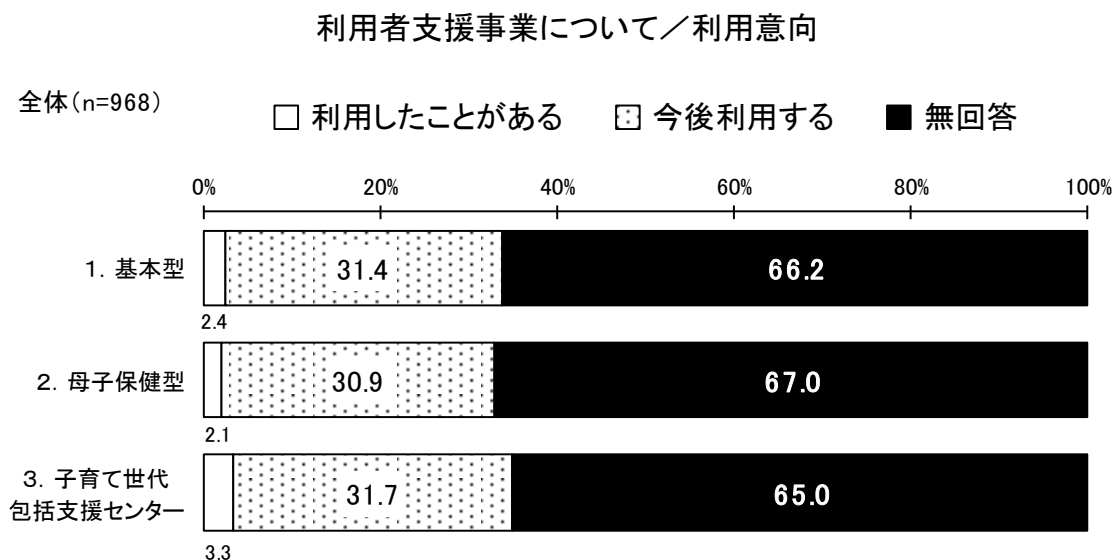
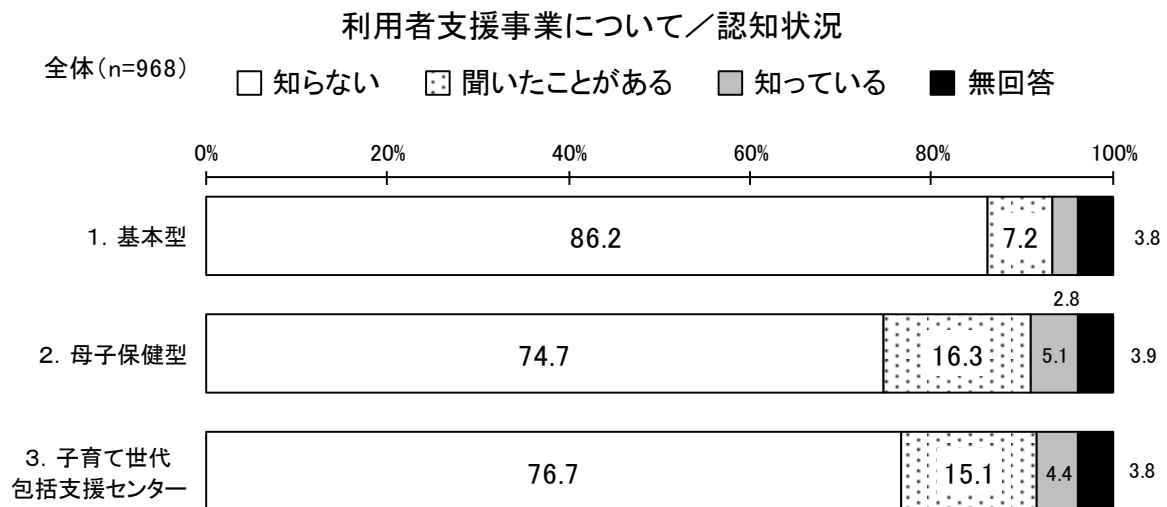


(68) 利用者支援事業について

問34 子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行う「利用者支援事業」がありますが、この事業を知っていますか。また、利用したことはありますか。

利用者支援事業の認知状況について「知らない」の割合をみると、『1. 基本型』が86.2%で最も高くなっています。

利用意向について「利用したことがある」の割合をみると、すべての事業で1割未満となっています。

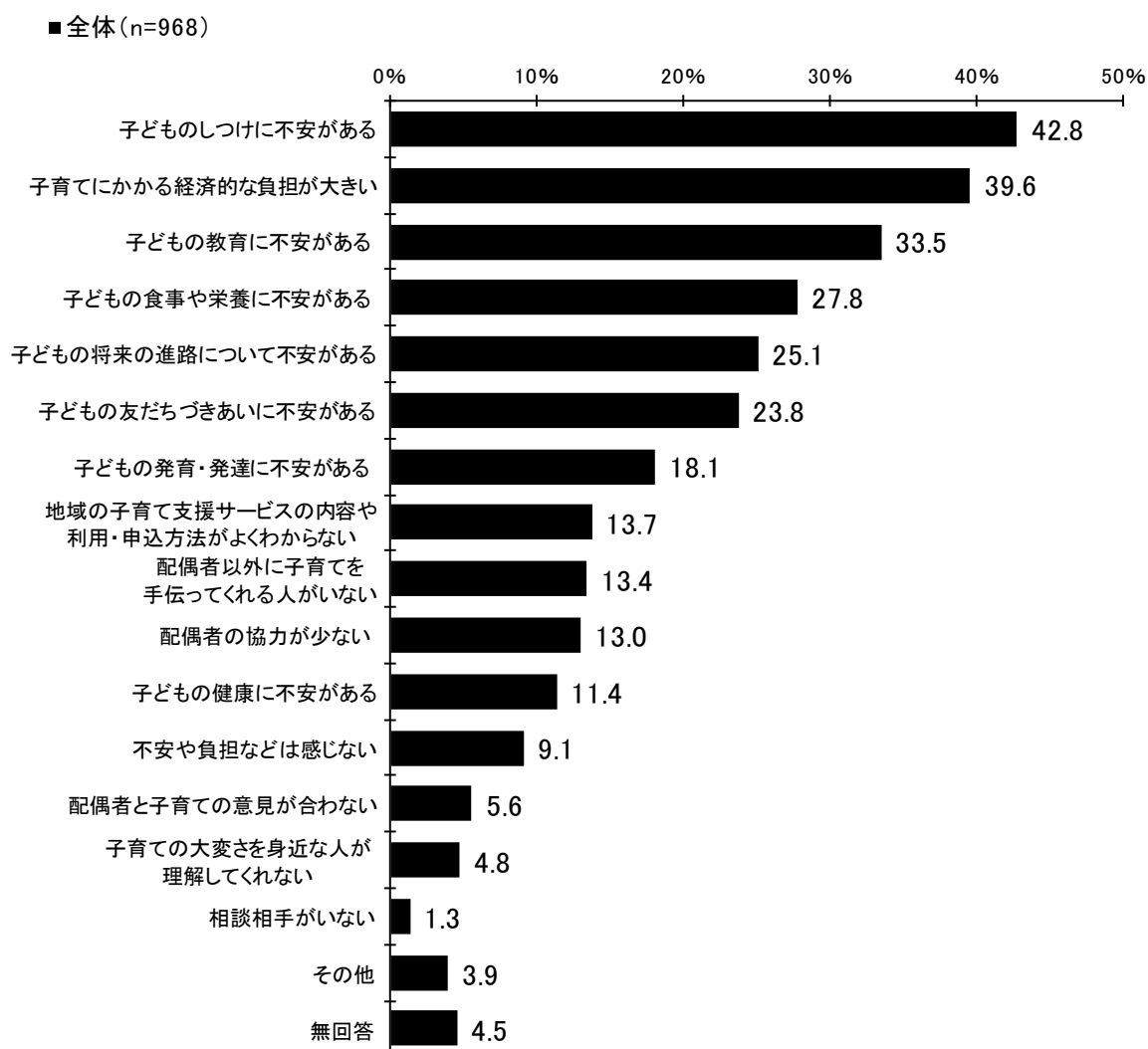


(69) 子育てに関して不安や負担を感じることはあるか

問35 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありますか。【複数回答】

子育てに関して不安や負担を感じることはあるかについては、「子どものしつけに不安がある」の割合が42.8%で最も高く、次いで「子育てにかかる経済的な負担が大きい」(39.6%)が続き、以下「子どもの教育に不安がある」(33.5%)、「子どもの食事や栄養に不安がある」(27.8%)、「子どもの将来の進路について不安がある」(25.1%)などの順となっています。

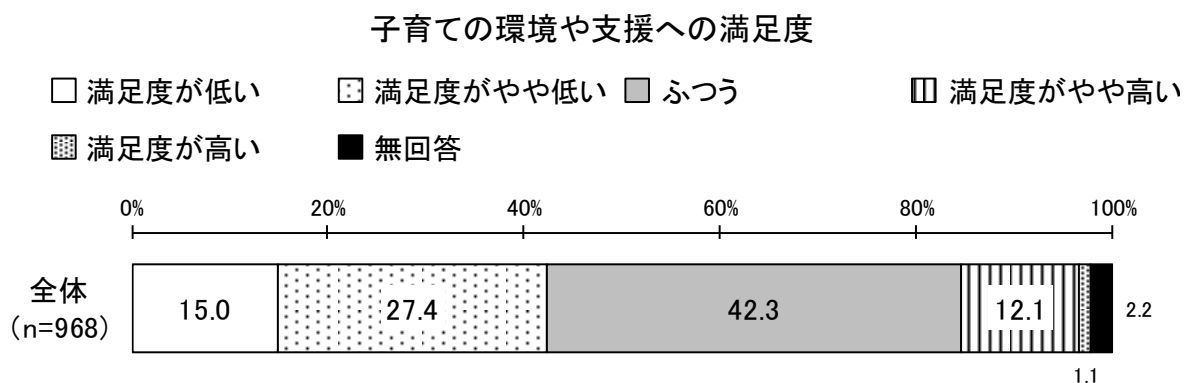
子育てに関して不安や負担を感じることはあるか【複数回答】



(70) 子育ての環境や支援への満足度

問36 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

子育ての環境や支援への満足度については、「ふつう」の割合が42.3%で最も高く、次いで「満足度がやや低い」(27.4%)が続き、これに「満足度が低い」(15.0%)を合わせた“不満足である”が42.4%となっています。一方、“満足である”(「満足度がやや高い」12.1%と「満足度が高い」1.1%の合計)の割合は13.2%で、“不満足である”が“満足である”を上回ります。



13 自由記述

問37 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

ご記入いただいた主なご意見としては、次のようなものがありました。

【主な意見】

- ・ 病児病後児保育の施設をつくってほしい
- ・ 学童保育所を増やしてほしい
- ・ 保育所を増やしてほしい
- ・ 子育てに必要なサービス等について、もっとPRしてほしい
- ・ 学童保育所の開始時間を早くしてほしい
- ・ 保育所の開始時間を早くしてほしい
- ・ 保育所の終了時間を遅くしてほしい
- ・ 保育所への送迎サービスを拡大してほしい
- ・ 公園の遊具等を充実してほしい
- ・ 歩道を整備・拡幅してほしい
- ・ 駅周辺に図書館を整備してほしい
- ・ 小児科・産婦人科を充実してほしい